
競輪場が果たすべき役割についての研究
Study on KEIRIN Velodromes as "Track Arenas"

早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科
スポーツ科学専攻トップマネジメントコース

5013A324-8

渡辺 俊太郎

研究指導教員：平田 竹男 教授

競輪場の果たすべき役割についての研究

1. 背景	(4)KEIRIN 規格の競輪場設置について(ハード)
現在競輪場は、特定ファンのみが観戦し、競輪開催以外では余り利用されていない。来場者平均年齢は60歳を超え、車券売上も1991年に2兆円弱であったが3分の1以下に落ち込んでいる。近年では収益が上がらず廃止する競輪場や廃止を検討している競輪場が後を絶たない。	対象:①競輪場(千葉・松阪・富山)来場者、②競輪選手、③競輪施行者
競輪の現状をトリプルミッションモデル(平田2006)で分析すると競輪が他のスポーツに比べて「勝利」「資金」という要素において優位性があるとともに、「普及」面では、チャンスがあるにも関わらず活かしきれていないこと、ギャンブル性が強調されすぎ、スポーツとしての理念が無く、「勝利」「資金」「普及」が全く循環していないことがわかる。なお、オリンピックで行われているKEIRIN(以下「KEIRIN」と表記)と、車券を売っている競輪はトラックの周長、自転車などルールが異なる。特に日本を除く国では自転車トラック競技のオリンピックメダル獲得数とトラック競技場の数に相関関係が認められるにも関わらず、日本はトラック競技場の数が世界一(68ヶ所。うち44ヶ所が競輪場)であるにも関わらずメダル獲得数順位が低いのが特徴的である。日本においても大都市近郊に拠点となるトラック競技場が確保できれば自転車競技の普及に寄与する可能性があることを示した論文(松倉2012)もあるが、競輪場はギャンブル場としてしか活用されておらず、スポーツ施設として活用されていない。	(5)競輪とKEIRIN について
競輪場をトラックアリーナとして開放することこそが競輪再興の処方箋であると考え、競輪場の活用についての研究はほとんどない。	i レース内容の面白さについて
	対象:①競輪場(千葉・松阪・富山)来場者、②競輪選手、③市民レース(千葉)、④世界戦観戦者
	ii 見栄えの良さについて
	対象:①競輪場(千葉・松阪・富山)来場者、②競輪選手、③世界戦観戦者
	iii 競輪場への来場意欲について
	対象:一般人(首都圏・関西圏)
	iv 車券購入意欲について
	対象:①一般人(首都圏・関西圏)、②世界戦観戦者
2. 研究目的	4. 結果
競輪場が一般の自転車愛好者やスポーツファンも気軽に使い、自転車競技普及の拠点となるトラックアリーナとして活用される可能性を探り、競輪再生への打開策を明らかにすること。	回答者数は、競輪場来場者合計554名、競輪選手124名、競輪施行者37名、市民レース参加者23名、一般人1040名、競輪場スタッフ328名、世界戦観戦者105名であった。
3. 研究手法	(1)オリンピックでのメダル獲得について
下記事項についてアンケート調査を実施した。	競輪場来場者の498名のうち299名が「非常に良い」、157名が「良い」と回答した。「東京オリンピックでメダルを獲得するために業界を上げて最大限の努力をすべき」とした人が、競輪選手では118名のうち87名、競輪施行者では35名のうち19名であった。
(1)オリンピックでのメダル獲得について	(2)競輪場を競技場として開放することについて
対象:①競輪場(千葉・松阪・富山)来場者、②競輪選手、③競輪施行者、④競輪場スタッフ(千葉・松阪・富山)	千葉競輪場来場者214名のうち100名が「非常に良い」、87名が「良い」と回答し「非常に悪い」「悪い」は各1名ずつであった。競輪選手120名のうち「頻繁にレースを開催すべき」95名、「少しはやるべき」が22名で、「やるべきでない」とした人はいなかった。競輪施行者では36名のうち「頻繁にやるべき」10名、「少しはやるべき」18名で、「やるべきで無い」が2名であった。
(2)競輪場を競技場として開放することについて	千葉競輪場で開催した市民レース参加者22名のうち12名が「自転車トラックレースにもともと興味があったが、参加することにより更に興味を持った」と回答し、8名が「もともと興味はなかったが、参加して興味を持った」と回答した。その他は「トラックレースを良く見る」が2名であった。世界戦観戦者は102名のうち76名が「競輪場やベロドロームを走行してみたい」と回答した。場やベロドロームを走行してみたい」と回答した。
(3)KEIRIN ルールでの競輪開催について(ソフト)	(3)KEIRIN ルールでの競輪開催について
対象:①競輪場(千葉・松阪・富山)来場者、②競輪選手、③競輪施行者	競輪場来場者487名のうち239名が良いと回答し、76名が悪いと回答した。競輪選手は119名のうち、賛成が

61名、反対58名であった。競輪施行者は34名の内、賛成反対共に17名であった。	と回答した人は131名、KEIRIN規格のトラックに行ってみたいと回答した人が307名であった。
(4)KEIRIN 規格の競輪場設置について	iv 車券購入意欲について
競輪場来場者354名中203名が良いとし、43名が悪くした。競輪選手は120名の内、賛成が56名、反対が45名であった。競輪施行者については、35名の内、賛成が11名、反対が17名、「どちらとも言えない」が7名であった。	同じく一般人1040名に写真を見せてアンケートを取ったところ、普段の競輪開催時に競輪場で車券を購入してみたいと回答した人は50名、記念競輪時では88名、KEIRIN規格のトラックでは185名であった。また、世界戦観戦者に「今日のレースで車券を購入できたらしてみたいですか」と質問したところ、103名の内61名が「してみたい」と回答した。また、この61名のうち、40名がスポーツ自転車を所有していた。車券購入未経験者は42名で、そのうちの18名が「してみたい」と回答した。
(5)競輪とKEIRIN について	
i レースの面白さについて	
競輪場来場者554名に複数回答可で回答を求めたところKEIRIN が「競輪よりつまらない」が197名、「競輪より面白い」が96名であった。	
競輪選手では120名のうち、「競輪の方が面白い」が75名、「競輪の方が面白くない」が4名、「どちらとも言えない」が41名であった。	5. 考察
市民レース参加者には競輪とKEIRINどちらに興味があるか質問をし、20名中18名が「両方に興味がある」と回答した。	来場者を含む関係者は競輪選手のメダル獲得を期待していることが分かった。特に来場者のうち若い人から高齢の方まで全ての層のファンが等しく期待していることも新たな発見であった。ファンは単なるギャンブルとしてではなく、自転車競技として競輪を楽しんでいることの証左である。
世界戦観戦者には競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRIN どちらが競技として面白いか質問したところ、「競輪の方が断然面白い」、「競輪の方が面白い」が回答者101名の内30名であったのに対し「今回のKEIRINの方が面白い」「今回のKEIRINの方が断然面白い」が39名であった。	メダル獲得は競輪再生の重要なきっかけであることは間違い無い。しかし、メダル獲得を競輪再生のきっかけにするには、自転車トラック競技の認知普及によって国民の注目を集めておく必要がある。そのために、都市部を含めて世界一の数を誇る競輪場を含むトラックを開放することが重要であるが、来場者、選手、施行者の多くは競輪場がアマチュアの競技場として使われることも良いと考えていることが分かった。
ii 見栄えの良さについて	KEIRINルールでの車券発売やKEIRIN 規格の競輪場の設置についても関係者が前向きな考えであったことも分かった。一方でKEIRIN規格のKEIRINよりも今の競輪の方が面白いという意見が多数である。見栄えが良く、予想しやすいKEIRINと現行の競輪は両立可能である。
競輪場来場者528名に複数回答で回答を求めたところ、KEIRINが「競輪より格好良い」が78名、「競輪より格好悪い」が20名であった。	KEIRIN規格の競輪場での競輪については、競輪未経験者の車券購入意欲が極めて高く、一気に新規ファンを獲得できる可能性があることも明らかになった。
競輪選手では自転車のスタイリングについて117名の内「競輪の方が格好良い」が19名、「競輪の方が格好悪い」が59名、「どちらともいえない」が39名であった。ユニフォームのデザインについては119名のうち「競輪の方が格好良い」が12名、「競輪の方が格好悪い」が68名、「どちらともいえない」が39名であった。ヘルメットのスタイリング・デザインについては120名のうち「競輪の方が格好良い」が5名、「競輪の方が格好悪い」が89名、「どちらともいえない」が26名であった。	オリンピックでのメダル獲得のためにもKEIRINルールによる競輪の開催が有用と考えられ、KEIRINから入った新規ファンが面白い競輪に移行することが予想される。ただ、そのためには競輪場やユニフォームの改善が必要であろう。
世界戦観戦者102名のうちユニフォーム・自転車について「競輪の方が断然格好良い」「競輪の方が格好良い」の回答合わせて17名であったのに対して「今回のKEIRINの方が格好良い」「今回のKEIRINの方が断然格好良い」が合わせて72名であった。	6. 結論
iii 来場意欲について	競輪場を積極的に多くの市民への開放は可能であることが明らかとなった。競輪場が自転車競技の普及・強化の普及となるだけでなく、多くの市民に利用され市民の健康やスポーツの拠点としての役割を果たすことが、競輪再生、競輪のトリプルミッションの好循環へ導くカギとなる。
一般人1040名に写真を見せてアンケートを取ったところ、普段の競輪開催時に競輪場に行ってみたいと回答した人は66名、記念競輪時の競輪場に行ってみたい	

目次

第1章 序論	6
第1節 研究の背景	6
第1項 競輪の概要	6
第2項 競輪とKEIRIN	7
第3項 筆者の背景	9
第4項 競輪の現状分析	9
第2節 先行研究	12
第3節 目的	12
第2章 研究方法	13
第1節 回答者の属性についての調査	13
第2節 オリンピックでのメダル獲得についての意識調査	14
第3節 競輪場を競技場として開放することについての意識調査	14
第4節 KEIRINルールでの競輪開催について(ソフト面)の意識調査	15
第5節 KEIRIN規格の競輪場設置について(ハード面)の意識調査	15
第6節 競輪とKEIRINについての意識調査	16
第1項 レース内容の面白さ、見栄えの良さについて	16
第2項 競輪場への来場意欲等について	16
第3章 結果	18
第1節 回答者の概要	18
第2節 メダリストの存在の認知度	19
第3節 オリンピックでのメダル獲得についての意識調査	20
第4節 競輪場を競技場として開放することについての意識調査	22
第5節 KEIRINルールでの競輪開催について(ソフト面)の意識調査	26
第6節 KEIRIN規格の競輪場設置について(ハード面)の意識調査	28
第7節 競輪とKEIRINについての意識調査	30
第1項 レース内容の面白さ、見栄えの良さについて	30
第2項 競輪場への来場意欲等について	34
第4章 考察	36
第1節 競輪場を自転車競技の普及拠点として活用	36
第1項 競輪場開放の必要性	36
第2項 競輪場開放の可能性	37
第2節 強化・資金獲得としての競輪場の活用	38
第1項 KEIRINルールでの競輪開催について	38
第2項 日本の競輪とKEIRIN	38
第3項 KEIRIN規格の競輪場による競輪	38
第3節 競輪場と競輪の再生への提言	40
第4節 研究の限界	41
第5章 結論	42
第6章 謝辞	43
図 1 トリプルミッション平田竹男『スポーツビジネス 最強の教科書』	9
図 2 トリプルミッションから見た競輪	11
図 3 通常開催時1	17
図 4 通常開催時2	17
図 5 通常開催時3	17

目次

図 6 グレードレース開催時1	17
図 7 グレードレース開催時2	17
図 8 グレードレース開催時3	17
図 9 国際レース1	17
図 10 国際レース2	17
図 11 国際レース3	17
図 12 競輪選手メダリストの認知度について、ネット調査の回答結果	19
図 13 今後やってみたいスポーツについて、ネット調査の回答結果(複数回答可)	19
図 14 オリンピックでのメダル獲得について、競輪場来場者の回答結果	20
図 15 オリンピックでのメダル獲得について、競輪選手の回答結果	20
図 16 オリンピックでのメダル獲得について、競輪施行者の回答結果	21
図 17 オリンピックでのメダル獲得について、競輪場スタッフの回答結果	21
図 18 競輪場を競技場として開放することについて、千葉競輪場来場者の回答結果	22
図 19 競輪場を競技場として開放することについて、松阪競輪場来場者の回答結果	22
図 20 競輪場を競技場として開放することについて、競輪選手の回答結果	23
図 21 競輪場を競技場として開放することについて、競輪施行者の回答結果	23
図 22 競輪場を競技場として開放することについて、市民レース参加者の回答結果	24
図 23 競輪場を競技場として開放することについて、市民レース参加者の回答結果	24
図 24 競輪場を競技場として開放することについて、	25
図 25 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪場来場者の回答結果	26
図 26 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪選手の回答結果	26
図 27 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪施行者の回答結果	27
図 28 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪場来場者の回答結果	28
図 29 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪選手の回答結果	28
図 30 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪施行者の回答結果	29
図 31 レースの面白さについて競輪場来場者の回答結果	30
図 32 レースの内容について、競輪選手の回答結果	30
図 33 自転車のスタイリングについて、競輪選手の回答結果	31
図 34 ユニフォームのデザインについて、競輪選手の回答結果	31
図 35 ヘルメットのスタイリング・デザインについて、競輪選手の回答結果	31
図 36 競輪に対する興味について、市民レース参加者の回答結果	32
図 37 レースの内容について、世界戦観戦者の回答結果	32
図 38 ユニフォーム、自転車のスタイリングについて、	33
図 39 来場意向、車券購入意向について、ネット調査の回答結果	34
図 40 来場意向、車券購入意向について、スポーツバイク所有者の回答結果	34
図 41 車券購入について、世界戦観戦者の回答結果	35
図 42 競輪のトリプルミッション(筆者作成)	40
表 1 2002年以降に廃止された競輪場一覧	6
表 2 オリンピック自転車競技種目一覧	7
表 3 競輪とKEIRINの比較	8
表 4 現役競輪選手メダリスト一覧	10
表 5 各国のメダル数(過去4回)とトラック数	10
表 6 アンケート実施対象者方法一覧	13
表 7 調査対象者の人数と年齢・性別	18

第1章 序論

第1節 研究の背景

■ 第1項 競輪の概要

競輪はいわゆる「公営競技」として地方自治体により運営されるギャンブル事業であり、戦後、「自転車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与するとともに、地方財政の健全化を図るため」（自転車競技法第1条）に始まったものである。

競輪の車券は100円単位で購入できるが、各レースの車券総売上のうち75%が当たり車券に対して払い戻され、残りの25%の中から、唯一の競輪振興法人である財団法人JKAに対する交付として実質2.1%が納付され、競輪運営自治体(以下「施行者」という)は、残りのお金で競輪開催経費を賄っている。

競輪場は現在全国に44ヶ所あり、そのうちの5ヶ所が民間所有であり、その他は施行者（或はその外郭団体）が所有している。各競輪場では年間概ね58日(2013年度)競輪レースを開催している（以下「本場開催」という）が、レースを開催していない時も年間250日程度他の競輪場の開催しているレースの車券を発売している(以下「場外発売」という)。各競輪場は毎年1回4日間の全国からトップレベルの選手が集まるグレードレースを開催するが、これは土日祝日を含む連続した4日間で行われる。このグレードレースは各競輪場が場外発売の関係上、殆どの土日祝日は場外発売が行われ、同時に本場開催をすることは少ない。そのため、各競輪場はグレードレース以外の本場開催のほとんどを土日祝日以外の平日に行っているのが現状である。

競輪場の走路(以下「トラック」という)は、本場開催している58日間以外は選手の練習やアマチュアレース、イベントに使われることはあるが、土日祝日であっても市民のために有効活用されているとは言い難い現状である。

全国の競輪の年間車券売上総合計は1991年に2兆円弱であったが、以降年々減少し、2013年はピーク時の3分の1以下に落ち込んでいる。年間来場者数も1980年には3500万人以上であったが、2012年の時点では500万人以下に減少している。そして、現在の競輪場はギャンブル場としてしか価値を見出されていないため、利益をもたらさなければ廃止を検討するというのが施行者の考え方の主流であり、表1に示す通り2002年から2012年の間に廃止になった競輪場が6場で、現在は44場にまで減少している。さらに、現時点でも施行者が存廃を議論している競輪場が複数存在している。

競輪場来場者も平均年齢は60歳を超えており、年金生活者がファンの主流となっている。年金の支給日には売り上げが上がる傾向があり、競輪の開催は年金支給日を考慮して日程を組まれることが多い。このような状況は競輪が何十年にもわたって新しいファン獲得の為に有効な施策を講じてこなかったことによると考えられる。

表1 2002年以降に廃止された競輪場一覧

競輪場名	廃止年
甲子園競輪場	2002年
西宮競輪場	2002年
門司競輪場	2002年
花月園競輪場	2010年
大津びわこ競輪場	2011年
観音寺競輪場	2012年

■ 第2項 競輪とKEIRIN

競輪において現在行われているレースは、自転車トラックレースとして人気を集め、2000年のシドニーオリンピックから「KEIRIN」としてオリンピック種目にもなった(表2)。従って、ギャンブルが原則として禁止されている日本において競輪は、個々の試合に直接賭けることができる唯一のオリンピック種目競技ということになる。

競輪現役選手には5人のオリンピックメダリストが存在する。また、ヨーロッパを中心に世界的に見ると自転車競技は、トラックレースも含めてメジャースポーツであり、KEIRINは自転車トラックレース大会のラストを飾る花形種目である。尚、自転車競技の中で最も伝統があり、ポピュラーな種目はロードレースであるが、ロードレースに次いで伝統があり、オリンピックにおいてメダル数が最も多いのはトラックレースである(松倉 2011)。

また、日本の場合、現状では競輪のみが車券発売の対象となっていることから、競輪の賞金が他の自転車競技の賞金と比べて著しく高額になり、アマチュア自転車競技の選手、特にトラックレースのトップ選手の多くが競輪選手を目指すという傾向にある。

表2 オリンピック自転車競技種目一覧

	開始年
トラックレース(5種目)	
個人スプリント	1896年
団体追い抜き	1908年
KEIRIN	2000年
チームスプリント	2000年
オムニウム	2012年
ロードレース(2種目)	
個人ロードレース	1896年
個人タイムトライアル	1996年
マウンテンバイク(1種目)	
クロスカントリー	1996年
BMX(1種目)	
個人	2008年

競輪はオリンピック競技種目ではあるが、日本においてギャンブルの対象として行われている競輪(以下「日本の競輪」と表記する場合は、これを指す)と、オリンピック種目にもなり、世界の人気競技として行われているKEIRIN(以下「KEIRIN」と表記する場合は、これを指す)はルールが異なっている。柔道とJUDOのルールが異なるのと同様である。

日本の競輪とKEIRINの具体的な違いは表3の通りで、自転車などの機材、トラックの周長、出走者の数、走行牽制などのブロックの是非が主なものである。以下に詳細を述べる。

日本の競輪において選手はレース毎に、出場者の中から通常2名から4名程度ずつで「ライン」と呼ばれる連携を組み、レースを運ぶ。競輪(「KEIRIN」も同様である)が時速70kmを超えることもある高速の競技であり選手は大きな風圧を受け、体力を奪われる。その影響を最小限にするためにラインの先頭は先行を得意とする選手が風を受けて走り、後続の選手は、自分たちのラインが抜かれないように他のラインの選手を牽制(ブロックなど)しながら走行する。このラインの連携はレースの途中における連携であり、最終的には同じラインの選手同士も競い合ってゴールを目指す。このように、日本の競輪は個人戦ではあるもののラインの力、ラインでのレース運びが勝敗を決めることが多いため、脚力だけで着順が決まりにくい。ラインのメンバー構成によって作戦が異なり、あるいは連携の強弱があるため、日本の競輪ではレースの展開を予想するという楽しみがあり、これが大きな魅力になっているが、他方で初心者には情報が少ないため、車券を購入しづらいという欠点がある。これに対してKEIRINは他者への牽制行為が禁止されるため、ラインを組むことはなく、選手の脚力によって着順が決まりやすい。

表3 「日本の競輪とKEIRINの比較」

	日本の競輪	KEIRIN
競技場	1周回333(335)m、400m、500m	1周回200m、250m
	最大傾斜30度～35度	(オリンピック等国际規格ルールでは250m)
	日本全国に44ヶ所	最大傾斜45～50度の 日本では1ヶ所(修善寺250m)
競技人数	通常9名	通常6～7名
フレーム	鋼管を素材としたクロモリフレーム	カーボンフレーム
ホイール	スポークホイール	カーボンホイール(バトンスポーク、ディスク型)
		
ヘルメット	専用の重くて大きいヘルメット	最先端の軽量エアロヘルメット
ユニフォーム	車番ごとに全選手共通で単色	チーム毎に自由に、
	フィット感少なく空気抵抗を受ける 戦後から目立った変更なし	身体にフィットし、空気抵抗少ない
		
ルールの特徴	・牽制をしても、相手を転ばせない限り 失格にならない	・牽制禁止
	・ライン(チーム)を組む	・ライン(チーム)なしの個人戦

また、日本の競輪では高速走行中にブロックして身体と身体とのぶつかり合いを演じることになる。このような格闘技的な要素も大きな魅力である一方、落車を誘発し、怪我をしやすい。また時には強い選手が大敗することもある。KEIRINは接触等によるアクシデントの可能性は少ないが、格闘技的な魅力はない。

さらに、KEIRINでは最先端の自転車が使用されるが、日本の競輪で使用する自転車は基本的には数10年前から変わらないデザインのものである。これは落車による自転車の損傷が多いことや、自転車の公平性の観点から最新の機材を使用できないためである。

ヘルメットやユニフォームにも違いがある。日本の競輪のヘルメットは落車の際の傷害を防ぐ為に頑丈なもので、ユニフォームもギャンブルの対象であることを理由に全員が同じ、しかもデザイン性の極めて低いものになっている。また、支給されるサイズも限られているため、必ずしも体にフィットしたユニフォームとはなっていない。また、色も車番ごとに決まっており、1番白、2番黒、3番赤、4番青、5番黄、6番緑、7番橙、8番桃、9番紫となっている。さらにパンツの色も選手の成績によって分けられる班級ごとに異なっており、トップ9人で構成されるS級S班は赤のレーサーパンツで横のラインは黒、次のクラスのS級1班とその次のS級2班は黒のレーサーパンツに横のラインは赤、S級の下クラスであるA級では黒

のレーサーパンツで横のラインは緑となっている。

一方で、KEIRINのヘルメットやユニフォームは空気抵抗を最低限にすることをめざし、デザインもスタイリッシュなものである。

レース場は、日本の競輪では個々の競輪場によって330～500メートルのトラックであり、競輪場によりレースの展開が異なることも魅力の一つと言える。一方、KEIRINでは屋内の250メートル乃至200メートルトラックであり、高速度のレースが展開される。

2013年9月に2020年の東京オリンピックの開催が決定した。前述の様に競輪選手の中にオリンピックでのメダル獲得を目指している選手がいること、競輪が柔道と同じく日本発祥のオリンピック競技であること、全国に競輪場が多数存在することを踏まえると、東京オリンピックに向けて競輪場を使って自転車競技の普及を行い、メダリストを輩出することが競輪の発展にとっても、地域スポーツの活性化にも、東京オリンピックを成功させるためにも必要と考える。

■ 第3項 筆者の背景

筆者は2007年に日本写真判定株式会社（以下「当社」という）の代表取締役役に就任した。当社は現在44か所全ての競輪場において着順判定写真の撮影業務を行っている。

社長就任当初、私は競輪を全く知らなかった。それ故、競輪がオリンピック種目であり世界的にはメジャースポーツであり、更に競輪選手の中にメダリストがいること、そして昨今の自転車ブーム、更に車券が発売できるという好条件が揃っているにも関わらず衰退していることが不思議でならなかった。

2003年の自転車競技法改正により、競輪施行自治体が一部の業務を除いて民間会社に一括して業務を行うこと（以下「民間委託」という）が可能となっていた為、競輪の衰退の原因を見出し、衰退を止めるべく、民間委託による競輪場運営業務に参入することとし、プロポーザル方式によるコンペの結果、現在では3か所（富山市、千葉市、松阪市）の競輪場の運営業務を行っている。

当社は、競輪場の運営において、ホスピタリティの充実（お客様とのコミュニケーション、ゴミ拾い・清掃の徹底、イベントの充実、家族連れで遊べるスペースの提供など）と選手のPR、自転車競技としての魅力のPRを重点に置いている。そして、4年間にわたり競輪場運営業務に携わった結果、競輪のコンテンツとしての魅力、成長可能性を確認することはできたが、他方で今の競輪場施設や競輪場運営方法、競技ルールなどの下では、新たなファンを大幅に増やすことは困難であることも実感した。

■ 第4項 競輪の現状分析

平田(2012)は、プロスポーツが繁栄するには、「理念」の下で、「普及」「勝利」「資金」を好循環させることが必要としている（図1）。前述の様に、競輪においては、メダリストが存在し、ギャンブルとして資金調達手段も存在している。つまり他のスポーツに比べてトリプルミッションの達成が容易であるように見える。そこで、トリプルミッションの観点から競輪を分析する。

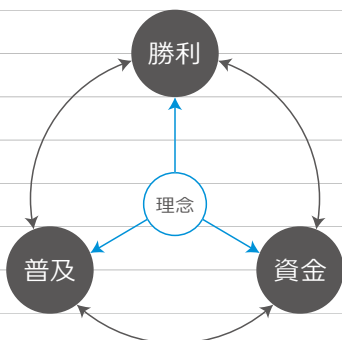


図1 トリプルミッション

（平田竹男『スポーツビジネス 最強の教科書』より）

1. 競輪における「勝利」

前述の様に、現役競輪選手にはメダリストが5人存在する。しかし、競輪がギャンブルであることなどの理由により、一般のメディアに取り上げられることは少なく、その認知度は低く、資金調達や普及に繋がっていない。

表4 現役競輪選手メダリスト一覧

オリンピック・メダル	名前
1996年 アトランタオリンピック 1km TT 銅メダル	十文字貴信
2004年 アテネオリンピック チームスプリント 銀メダル	井上昌己、長塚智広、伏見俊昭
2008年 北京オリンピック KEIRIN 銅メダル	永井清史

また、日本国内には68か所（うち44か所が競輪場）の自転車トラックレース場があり、その数は世界一である。しかし、過去4回のオリンピックでの自転車トラックレースでのメダル獲得数2個（アテネチームスプリント、北京KEIRIN）で世界11位である。

表5に過去4回のオリンピックでのメダル獲得数ベスト10の国とその国の国内トラック数を示した。これらについて相関係数を出すと、日本を入れての相関係数は0.31であるのに対して日本を除いての相関係数は0.69となる。つまり、世界的に見るとトラックの数が多い国ほどメダル獲得数が多いにも関わらず、日本はその大きな例外となっていることがわかる。これは日本のトラックの多くが競輪場であり、ギャンブル場としてしか活用されておらず、スポーツ施設として活用されて来なかったためと考えられる。

表5 各国のメダル数（過去4回）とトラック数

	国名	トラックレースメダル数	国内トラック数
1	イギリス	18	27
2	オーストラリア	14	51
3	フランス	11	9
4	ドイツ	10	24
5	アメリカ	4	29
	中国	4	2
7	オランダ	3	3
	カナダ	3	8
	ニュージーランド	3	12
	ロシア	3	2
11	スペイン	2	7
	デンマーク	2	3
	日本	2	68

2. 競輪における「資金」

競輪はギャンブルであるため他のスポーツと異なり、車券販売によって資金を調達することができるため、資金調達が容易である。

実際、競輪の車券販売売上は2012年度で年間6147億円であり、当たり車券への払戻額75%を控除した25%で見ても1536億円である。この金額は、サッカーJリーグの総収入額（入場料・広告料その他）が年間750億円程度（2011年、Jリーグ公式サイトより）であることと比較しても極めて大きな金額である。

しかし、競輪においては入場料収入、広告料収入、強化や普及による資金調達は殆どなく、ギャンブルとしての事業化はできていてもスポーツとしての事業化は全くできていない状況である。

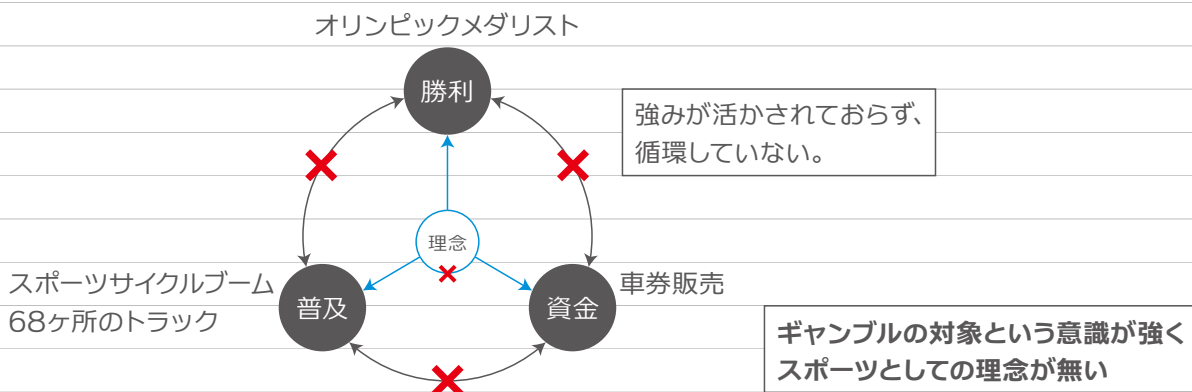
3. 競輪における「普及」

近年日本においてもスポーツサイクルブームが起り、2008年以降スポーツサイクル人口は急激に増加しているが、松倉(2011)は、「人口に対する(自転車競技連盟)登録者数の比率において、日本はまだ欧州諸国に比して低水準にあり、大幅に増大の余地がある。例えば、イギリスにおける登録者は人口1,543人に対し1人であるが、日本ではまだ20,000人に1人程度であり、一桁少ない。」としている。

安福(2010)が競輪選手にとったアンケート「競輪を知った年齢」の設問に対する回答では、15～19歳が最も多く49%、10～14歳が23%、5～9歳が18%、5歳未満が5%、20歳以上が5%であり、競輪を知ったきっかけについても、「知人が競輪選手」が16%、「新聞やTV等のメディア」が17%、「家族」が最も多く48%、友人が10%、「その他」が9%であった。これらの結果は、ギャンブル専門メディア以外への競輪の露出が少ないことを示している。

以上のように、トリプルミッションから競輪を分析すると、「資金」「勝利」「普及」いずれの面でも、他のスポーツには無い大きな強みを有していると言えるが、これらの強みがほとんど活かされておらず、また、各要素が全く循環しておらず、むしろ分断されていると言える(図2)。

これは、競輪がギャンブルであるという認識が強すぎるために、スポーツとしての理念を全く意識せずに運営されて続けて来た結果であると考えられる。自転車トラックレースで競輪選手がメダルを獲得することに向けた理念を掲げ、東京オリンピック開催が決まっただけで、関係者はトリプルミッションが好循環するためのアクションを共有すべきである。



先行研究においても山田(2005)がこのような状況について、『かつて美濃部元東京都知事が「競輪鼠小僧論」によって「目的がよければ資金源はどこでも良いのか」という問題を提起し、東京都営競輪を廃止(1973年)したとき、競輪関係者は有効な反論を打ち出せなかった。これは競輪関係者が「地方財政への寄与」、内乱防止などの「社会的安定への寄与」以外に競輪の存在理由を積極的に打ち出せなかったことが一因である。東京、京都、神戸などの財政力ある自治体は高度成長期を中心に財源として必要なくなった競輪をあささり見切り、「社会的安定」も競輪の存在理由にならなくなった。また景気低迷が続く昨今にも売上減少を理由に公営競技行政から撤退する地方公共団体は後を絶たない。つまり競輪が多くのファンに支持され、大衆娯楽として有益であり、たとえ草創期に様々な問題を起こしたとしても、健全な娯楽として発展させることに打ち込める様な制度にはなっていないのである。多くの施行者は積極的に公営競技行政を展開し、競輪を地域の人に愛される「プロスポーツ」として有効に活用しようという発想に乏しい。競輪選手は全国に4000人程度おり、競輪場も47場(2002年4月現在)あり、「もっとも身近なプロスポーツ」になる可能性をもっていた。まず「免罪符」として財政面での貢献が強調されて、余暇の健全な娯楽としての貢献が公営競技行政の中に展開されなかったことが今日、競輪の不振の原因を作った一因だろう。』と指摘している。

また、産業構造審議会(2011年)は競輪事業を持続可能なものとするための方策の第一に、『競輪が』『自転車競技の頂点として定着していくとともに、競輪選手の成功の際に得られる報酬が大きい等「夢のある」存在にしていけるべき』と指摘している。

これまで競輪は単なるギャンブルによる地方財政貢献などの手段としての価値しか見出されておらず、競輪場はギャンブル場であり、金銭面以外での自転車競技の普及に対する貢献は極めて少なかったと言わざるを得ない。しかし、競輪の競技としての側面はスポーツであり、競輪場のトラックはスポーツ施設である。競輪場をトラックアリーナとして市民のために開放することが競輪再興の処方箋であると確信している。

第2節 先行研究

自転車競技に関する研究としては、松倉（2011）が、ヨーロッパ、特にイギリス、ベルギーと比べて日本が普及・強化において大きな改善の余地があるとした上で、登録競技者の増大が優先的に取り組むべき課題であると結論づけている。同論文では、自転車競技の普及のために競輪場を利用できるかどうかとも考察しているが、結論的には競輪場のギャンブル場としての実態などを理由に『本格的な自転車競技の「拠点」としての機能を期待することは困難』としている。

また、安福（2010）は、競輪選手の特徴を分析した上で、自転車競技経験者が競輪選手になるケースが増えていることを踏まえて、競輪選手がオリンピックでメダルを獲得することによって競輪の普及に繋がるとし、更に競輪場を開放すべきと考察しているが、競輪場と自転車競技の普及・強化に関して正面から論じたものではない。

また、山田（2005）は競輪選手の数と競輪場の数の多さから、競輪が最も身近なプロスポーツになる可能性をもっていたにも関わらず財政への寄与だけが強調されてきたことが競輪不振の原因を作った一因であろうとしているが、具体的な方策を論じてはいない。

その他、競輪自体については、公営競技、すなわちギャンブルとしての存在価値等を論じたものはあるが、競輪場のスポーツ施設としての価値や競輪をスポーツとして論じたものは見あたらない。

第3節 目的

競輪場が一般の自転車愛好者やスポーツファンも気軽に使え、自転車競技普及の拠点となるトラックアリーナとして活用される可能性を探り、競輪再生への打開策を明らかにすることを本研究の目的とする。

第2章 研究方法

第1節 回答者の属性についての調査

本研究では、下記対象者に属性及びアンケート調査を実施した。対象者と内容、調査期間、配布・回収方法は以下の通りであった。(表6)

① 千葉競輪場来場者

2013年10月17日～20日の4日間、千葉競輪場にて年に1度のグレードレース（開設周年記念レース）開催中に場内にてアンケート用紙を配布して回収した。

② 松阪競輪場来場者

2013年11月15日～18日の4日間、松阪競輪場にて年に1度のグレードレース（開設周年記念レース）開催中に場内にてアンケート用紙を配布して回収した。

③ 富山競輪場来場者

2013 年、富山競輪場にてラウンジイベント開催中に場内にてアンケート用紙を配布して回収した。

④ 競輪選手

インターネット上でアンケートを実施し、フェイスブック、メール等、口コミで依頼した。

⑤ 競輪施行者

競輪施行自治体の競輪場担当職員（以下「施行者」という）に郵送乃至は手渡しによって直接依頼して回答を得た。

⑥ 千葉市民レース参加者

2013年12月15日に千葉競輪場で実施した市民レースの参加者にアンケート用紙を配布して回収した。

⑦ 千葉競輪場スタッフ

2013年3月15日に千葉競輪場の当社雇用スタッフ（元千葉市雇用）にアンケート用紙を配布し、後日回収した。

⑧ 富山競輪場スタッフ

2013年4月11日に富山競輪場の当社雇用スタッフ（元富山市雇用）にアンケート用紙を配布し、後日回収した。

⑨ 松阪競輪場スタッフ

2013年4月11日に松阪競輪場の当社雇用スタッフ（元松阪市雇用）にアンケート用紙を配布し、後日回収した。

⑩ ネット調査

リサーチ会社に依頼して首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）と関西圏（大阪、京都、兵庫、奈良）在住の方に対してインターネットにより調査をした。

⑪ 世界戦観戦者

2014年1月24日から26まで、伊豆ベロドロームで開催された自転車トラックレース世界大会「JAPAN TRACK CUP」観戦者にアンケート調査をした。

表6 アンケート実施対象者方法一覧

	実施日	方法	備考
①千葉競輪場来場者	2013年10月17日～20日	場内にてアンケート用紙を配布	グレードレース開催期間
②松阪競輪場来場者	2013年11月15日～18日	場内にてアンケート用紙を配布	グレードレース開催期間
③富山競輪場来場者	2013年	場内ラウンジにてアンケート用紙を配布	ラウンジイベント参加者
④競輪選手(男子のみ)	2013年12月13日～27日	インターネット	フェイスブック、口コミ等によってサイトを告知
⑤競輪施行者	2013年12月4日～26日	アンケート用紙を郵送または配布	直接依頼
⑥千葉市民レース参加者	2013年12月15日	アンケート用紙配付	
⑦千葉競輪場スタッフ	2013年3月15日	アンケート用紙を配布	
⑧富山競輪場スタッフ	2013年4月11日	アンケート用紙を配布	
⑨松阪競輪場スタッフ	2013年4月11日	アンケート用紙を配布	
⑩ネット調査	2013年12月	インターネット	リサーチ会社に依頼
⑪世界戦観戦者	2014年1月24日～26日	アンケート用紙を配布	

各競輪場来場者（前記①②③）については、性別、年齢、来場回数、平均車券購入金額を質問した。

選手（前記④）には、年齢、班級を質問した。

競輪施行者（前記⑤）については競輪場での勤続期間を質問した。

市民レース参加者（前記⑥）については、年代、性別、競輪選手メダリストの認知の有無を質問した。

ネット調査（前記⑩）では、性別、年齢、所有自転車、メダリストの認知の有無、今後やってみたいスポーツを質問した。

世界戦観戦者（前記⑪）については、年齢、性別、所有自転車、メダリストの認知の有無、車券購入経験を質問した。

第2節 オリンピックでのメダル獲得についての意識調査

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対して、競輪選手がオリンピックでメダルを獲得することについて、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一でアンケートを行った。

2. 競輪選手に対して

競輪選手に対しては、メダル獲得を望む人が多いことは予想できたので、より踏み込んで、「東京オリンピックで競輪選手がメダルを獲ることにに関して以下の中で一番近い考えを選んで下さい」として、「メダルを獲る為に競輪界を上げて最大の努力をすべき」「メダルを取って欲しいがその為に競輪界に負担が無い方が良い」「メダルを取れたら良いが競輪界に負担をかけるのは良くない」「メダルを取れても取れなくてもどちらでも良い」の五者択一とした。

3. 競輪施行者に対して

競輪施行者に対しても選手と同様の理由から同じ内容でアンケートを実施した。

4. 競輪場スタッフ（千葉・松阪・富山）に対して

競輪場スタッフに対しては、「各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについてどのような影響を与えると思うか教えて下さい（現状がどうであるかは別として）」という質問の中で「競輪選手が世界で活躍すること」について「非常に良い影響」「良い影響」「どちらとも言えない」「悪い影響」「非常に悪い影響」の五者択一とした。

第3節 競輪場を競技場として開放することについての意識調査

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場の来場者に対しては、「千葉競輪場で市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技大会が実施されることについてどう思うか」という質問をし、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一とした。

松阪競輪場の来場者については、実際の参加意向を知るため、「松阪競輪場でイベントが開催された場合参加したいと思うものを選んで下さい」とし、「市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技体験イベント」、「競輪選手に指導して貰える自転車競技スクール」、「自転車の試乗会」、「いずれも参加したくない」の選択肢で複数回答可能とした。

2. 競輪選手に対して

競輪選手に対しては、「東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについてどのように思いますか」という質問をし、「頻繁にやるべき」「少しはやるべき」「どちらとも言えない」「やるべきではない」の四者択一とした。

3. 競輪施行者に対して

競輪施行者に対しても選手と同様の内容でアンケートを実施した。

4. 市民レース参加者（千葉）に対して

市民レース参加者に対しては、「自転車トラックレースに対する興味についてあてはまるもの1つを選択してください」という質問をし、「よく見る」「もともと興味があったが今回参加して更に興味を持った」「もともと興味が無かったが今

回参加して興味を持った」「興味が無い」の四者択一とした。

また、「競輪場でトラックレースの練習をしたり競輪選手による指導を受けることができるとすれば参加したいと思いますか」という質問をし「是非参加したい」「機会があれば参加したい」「参加したくない」の三者択一とした。

5. 世界戦観戦者に対して

世界戦観戦者に対して、「競輪場やベロドロームを走行してみたいですか」と質問し、「是非してみたい」「してみたい」「どちらとも言えない」「してみたくない」「全くしてみたくない」の五者択一とした。

第4節 KEIRIN ルールでの競輪開催について（ソフト面）の意識調査

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対して、オリンピックと同じルールで競輪が行われることについて「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一でアンケートを行った。また、オリンピック種目のKEIRIN を見たことがあると回答した人に対し「オリンピック種目のKEIRIN を見てどう思いましたか」という質問をし、「競輪より格好いい」「競輪より面白い」「競輪より格好悪い」「競輪よりつまらない」の選択肢で複数回答可能とした。

2. 競輪選手に対して

競輪選手に対して「日本人がオリンピックでメダルを獲れるようにするため、男子についてKEIRINルールで車券を発売することについてどう思いますか」という質問をし、「全てのレースをKEIRINルールにすべき」「多くのレースをKEIRINルールにすべき」「一部のレースをKEIRINルールにすべき」「KEIRINルールのレースはやらない方が良い」の四者択一とした。

3. 競輪施行者に対して

施行者に対しても選手同様のアンケートを実施した。

第5節 KEIRIN規格の競輪場設置について（ハード面）の意識調査

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対しては、「現在の競輪場がオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか」という質問をし、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一とした。

2. 競輪選手に対して

競輪選手に対して「日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするために競輪場が250mの競輪場になることをどう思いますか」という質問をし「全ての競輪場を250mにすべき」「多くの競輪場が250mになるべき」「一部の競輪場が250mになるべき」「250mの競輪場は不要」「どちらともいえない」の五者択一とした。

3. 競輪施行者に対して

競輪施行者に対しても、競輪選手と同様の内容でアンケートを行った。

第6節 競輪とKEIRINについての意識調査

第1項 レース内容の面白さ、見栄えの良さについて

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対しては、「オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのKEIRINを見たことがありますか」という質問に対し「ある」と回答した人に「オリンピック種目の競輪を見てどう思いましたか」という質問をし、「競輪より格好良い」「競輪より面白い」「競輪より格好悪い」「競輪よりつまらない」の選択肢で複数回答可能とした。

2. 競輪選手に対して

競輪選手に対しては、「競輪とKEIRINを比較してレースの内容についてどう思いますか」という質問をし、「競輪の方が面白い」「競輪の方が面白くない」「どちらともいえない」の三者択一とした。

また、「競輪とKEIRINを比較して、自転車のスタイリングについてどう思いますか」「ユニフォームのデザインについてどう思いますか」「ヘルメットのスタイリング・デザインについてどう思いますか」と言う3つの質問をし、いずれも「競輪の方が格好良い」「競輪の方が格好悪い」「どちらともいえない」の三者択一とした。

3. 市民レース参加者に対して

市民レース参加者に対して「競輪とKEIRIN、どちらに興味ありますか」と質問し、「競輪」「KEIRIN」「両方興味ある」「どちらも余り興味がない」の五者択一とした。

4. 世界戦観戦者に対して

世界戦観戦者に対して「競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINでは競技としてどちらが面白いですか」と質問し、「競輪の方が断然面白い」「競輪の方が面白い」「余り変わらない」「今回のKEIRINの方が面白い」「今回のKEIRINの方が断然面白い」「競輪を見たことが無いから分からない」「違いが良く分からない」の六者択一とした。

また、「競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINではユニフォーム・自転車はどちらが格好良いと思いますか」と質問し、「競輪の方が断然格好良い」「競輪の方が格好良い」「余り変わらない」「今回のKEIRINの方が格好良い」「今回のKEIRINの方が断然格好良い」「競輪を見たことが無いから分からない」の五者択一とした。

第2項 競輪場への来場意欲等について

1. ネット調査（首都圏・関西圏）

首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）関西圏（大阪、京都、兵庫、奈良）在住のスポーツサイクルを楽しんでいる方に、「各公営競技（競馬、競輪、ボートレース、オートレース）について、実際に競技場に行きたいと思いますか。各項目に最も近いものをひとつずつお知らせください」と質問し、「行ってみたいと思う」「機会があれば行ってみたい」「どちらともいえない」「あまり行きたいと思わない」「行きたいと思わない」の五者択一とした。

首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）関西圏（大阪、京都、兵庫、奈良）在住の一般の方に通常開催時（図3～5）、グレードレース開催時（図6～8）、国際レース（図9～11）それぞれの写真を見せて「ご覧頂いた競輪場についてお聞きます。あてはまるものを1つだけお選び下さい」と質問し、「このような競輪場に行ってみたいと思う」と「車券を買って参加したいと思う」について、「とても当てはまる」「まあ当てはまる」「どちらとも言えない」「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の五者択一とした。

1) 通常開催



図3 通常開催時1



図4 通常開催時2



図5 通常開催時3

2) グレードレース時



図6 グレードレース開催時1



図7 グレードレース開催時2



図8 グレードレース開催時3

3) 国際レース時



図9 国際レース1



図10 国際レース2



図11 国際レース3

2. 世界戦観戦者に対して

世界戦観戦者に対して、「車券を購入したことはありますか」と質問し、「何回もある」「購入したことがある」「ない」の三者択一とした。

また、「今日のレースで車券を購入できたらしてみたいですか」と質問し、「是非してみたい」「してみたい」「どちらとも言えない」「してみたくない」「全くしてみたくない」の五者択一とした。

第3章 結果

第1節 回答者の概要

回答者数を表7に示した。対象者のうち競輪場への来場者は男性415名、女性102名、不明11名だった。

表7 調査対象者の人数と年齢・性別

	対象者	競輪場	人数	年齢（競輪施行者のみ競輪業務担当年数、選手は班級も）						
	来場者			20~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71以上	
		千葉競輪場	241名	男	8名	18名	34名	28名	54名	32名
				女	7名	22名	9名	9名	8名	4名
				年齢・性別未回答(8)						
		松阪競輪場	287名	男	6名	15名	31名	42名	86名	61名
				女	1名	5名	4名	13名	20名	0名
				未回答	0名	0名	1名	0名	2名	0名
		富山競輪場	26名	男	3名	4名	9名	3名	6名	0名
				女	0名	1名	0名	0名	0名	0名
	競輪選手			21~25	26~30	31~40	41~50	51以上	未回答	
				13名	24名	62名	23名	1名	1名	
		124名		SS	S1	S2	A1	A2	A3（班級）	
				6名	34名	27名	25名	23名	9名	
	競輪施行者			1年目	2年目	3年目	4年~	10年以上		
		37名		7名	5名	3名	11名	11名		
	市民レース参加者			21~30	31~40	41~50	51~60	61~70		
		23名	男	0名	8名	11名	1名	1名		
			女	1名	0名	0名	1名	0名		
	競輪場スタッフ									
		千葉競輪場	85名							
		富山競輪場	136名							
		松阪競輪場	107名							
	ネット調査			20~29	30~39	40~49	50~59	60~69		
		1040名	男	104名	104名	104名	104名	104名		
			女	104名	104名	104名	104名	104名		
	世界戦観戦者	105名		20~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71以上	
			男	7名	10名	20名	16名	14名	5名	
			女	1名	5名	17名	7名	3名	0名	

第2節 メダリストの存在の認知度

千葉競輪場で行われた市民レース参加者（サイクリスト）に対するアンケートの結果、競輪選手にメダリストが居ることを知る人が23名中15名であった。なお、世界戦観戦者においては、メダリストが居ることを知っている人は103名中89名であった。

一般人に対するネット調査では、メダリストがいることを知っている人は1040名中、431名だけであった。年代別で見ると、20代では13%、30代23.1%、40代26.9%であった。

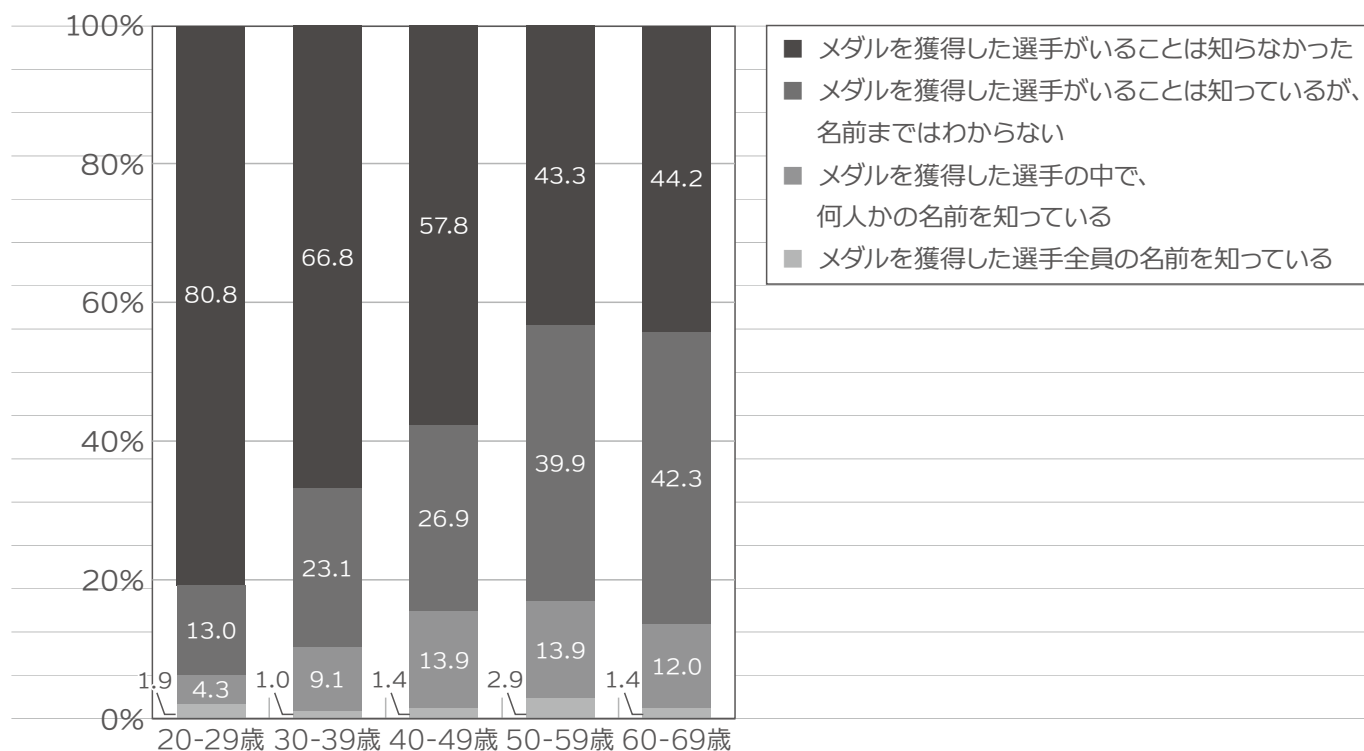


図12 競輪選手メダリストの認知度について、ネット調査の回答結果

回答者：1040名

ネット調査において、スポーツバイクの所有を聞いたところ、一般人1040名中201名が所有し、今後やってみたいスポーツは、1040名中211名が自転車을挙げていた（図13）。さらにこのスポーツバイクを持っている201人に公営競技場への来場意向を聞いたところ、競馬場88名、競輪場49名、ボートレース場50名、オートレース場40名であった。

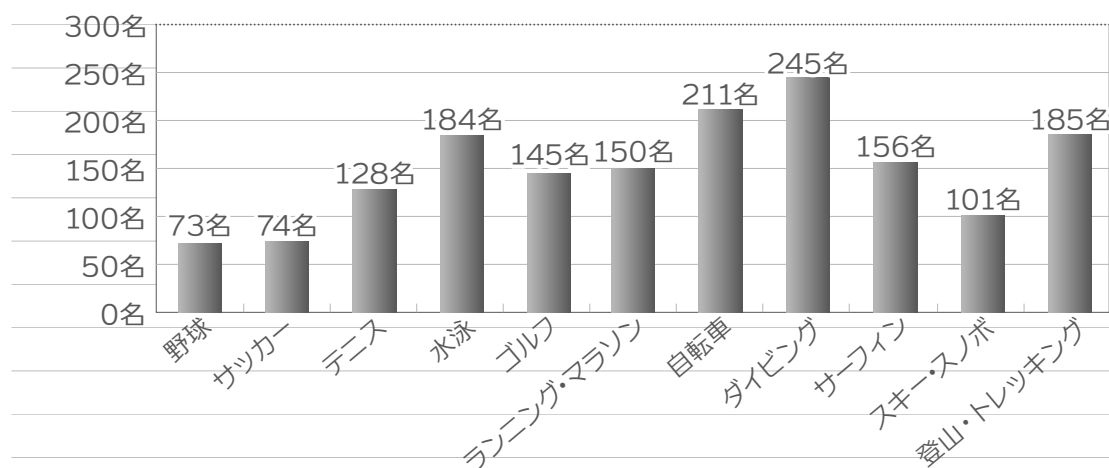


図13 今後やってみたいスポーツについて、ネット調査の回答結果（複数回答可）

回答者：1040名

第3節 オリンピックでのメダル獲得についての意識調査

1. 競輪場来場者に対するアンケート

当社が運営する千葉競輪場、松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対してアンケートを行った。競輪選手がオリンピックでメダルを獲得することについて、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一でアンケートを行った。

その結果、競輪場来場者の回答者498名の内299名が「非常に良い」、157名が「良い」と回答した。なお、年齢、来場頻度でクロス集計したが、特徴は認められず、初心者から高齢の来場者まで、全ての層のファンが選手のメダル獲得を期待していることが分かった。

競輪選手がオリンピックでメダルを獲得すること

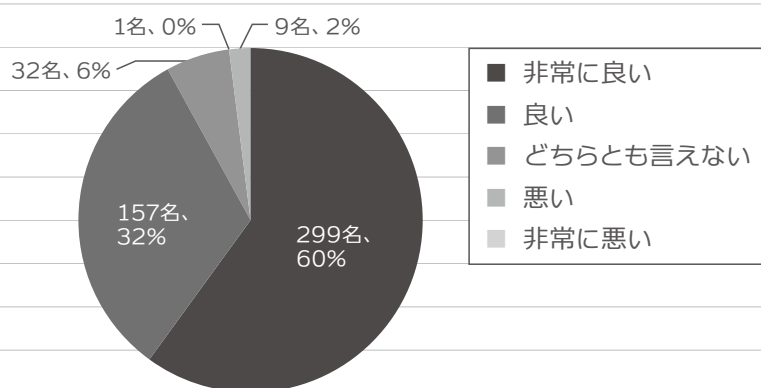


図14 オリンピックでのメダル獲得について、競輪場来場者の回答結果
回答者：498名

2. 競輪選手に対するアンケート

競輪選手に対しては「東京オリンピックで競輪選手がメダルを獲ることに以下の中で一番近い考えを選んで下さい」として、「メダルを獲る為に競輪界を上げて最大の努力をすべき」「メダルを取って欲しいがその為に競輪界に負担が無い方が良い」「メダルを取ったら良いが競輪界に負担をかけるのは良くない」「メダルを取れても取れなくてもどちらでも良い」の五者択一のアンケートをとった。

その結果、118名の内87名が「メダルを獲得するために業界を上げて最大限の努力をすべき」と回答した。

東京オリンピックで競輪選手がメダルを取ることに就いて一番近い考え

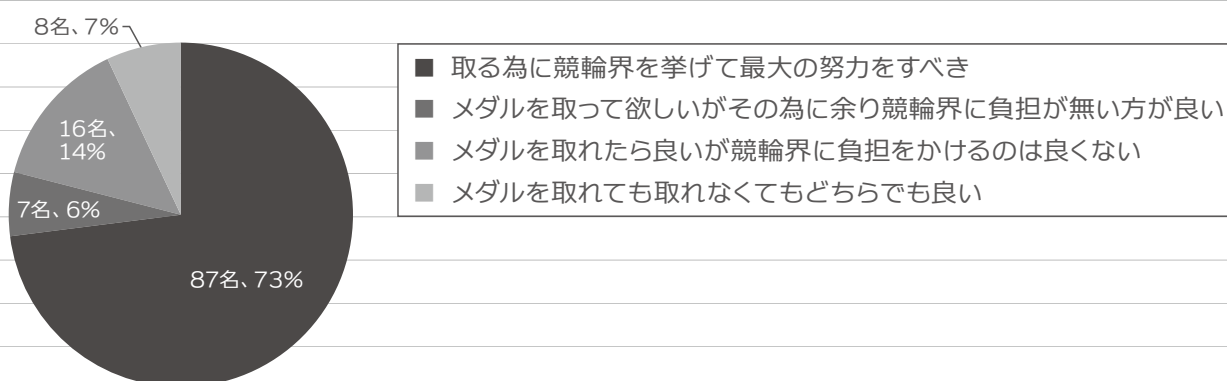


図15 オリンピックでのメダル獲得について、競輪選手の回答結果
回答者：118名

3. 競輪施行者に対するアンケート

競輪施行者に対しても選手と同様の内容でアンケートを実施した。その結果35名の内19名が「メダルを獲得為に競輪界を上げて最大の努力をすべき」と回答した。

東京オリンピックで競輪選手がメダルを取ることにに関して一番近い考え

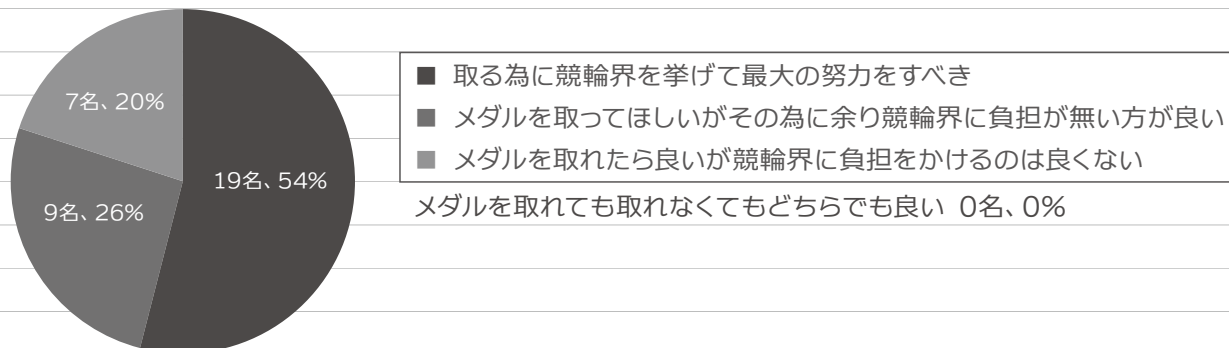


図16 オリンピックでのメダル獲得について、競輪施行者の回答結果

回答者：35名

4. 競輪場スタッフに対するアンケート

競輪場スタッフに対しては、「各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについてどのような影響を与えると思うか教えてください（現状がどうであるかは別として）」という質問の中で、「競輪選手が世界で活躍すること」について「非常に良い影響」「良い影響」「どちらとも言えない」「悪い影響」「非常に悪い影響」の五者択一で回答を求めた。

その結果、313名の内157名が選手が世界で活躍することが仕事に誇りを持つことに「非常に良い影響」とし、114名が「良い影響」と回答した。

競輪選手が世界で活躍する事

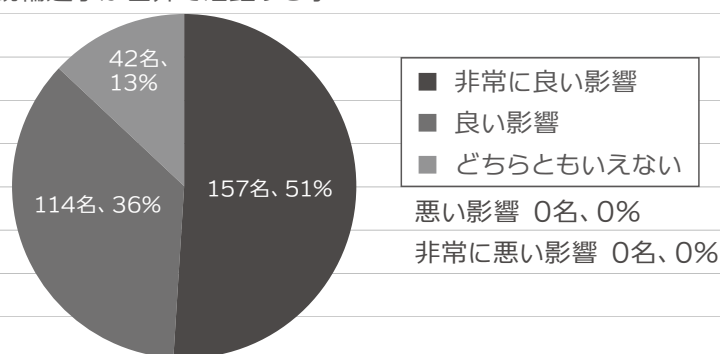


図17 オリンピックでのメダル獲得について、競輪場スタッフの回答結果

回答者：313名

第4節 競輪場を競技場として開放することについての意識調査

1. 競輪場来場者に対するアンケート

千葉競輪場の来場者に対しては、「千葉競輪場で市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技大会が実施されることについてどう思うか」という質問をし、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一とした。

その結果、214名の内100名がアマチュアレースの開催を「非常に良い」と回答し、87名が「良い」と回答した。「非常に悪い」「悪い」は各1名だった。

千葉競輪場で市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技大会が実施されること

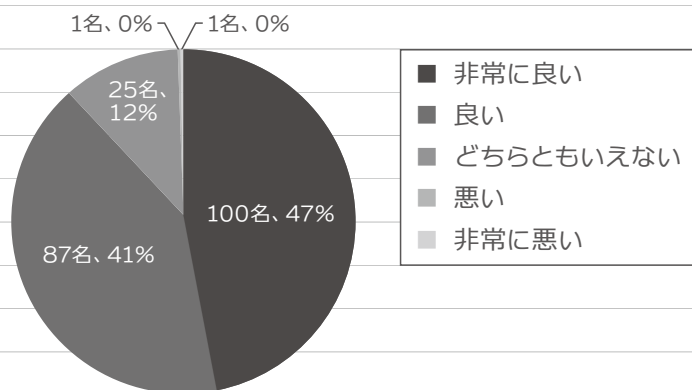


図18 競輪場を競技場として開放することについて、千葉競輪場来場者の回答結果

回答者：214名

松阪競輪場の来場者については、実際の参加意向を知るため、「松阪競輪場でイベントが開催された場合参加したいと思うものを選んで下さい」とし、「市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技体験イベント」、「競輪選手に指導して貰える自転車競技スクール」、「自転車の試乗会」、「いずれも参加したくない」の選択肢で複数回答可能とした。

その結果、287名の内122名が市民が参加できるアマチュアレースや自転車競技体験イベントに参加したいと回答した。いずれも参加したくないと回答した人は53名であった。なお、年齢、性別、来場頻度でクロス集計したが、傾向は見られなかった。

松阪競輪場でイベントが開催された場合、参加したいと思うもの（複数回答可）

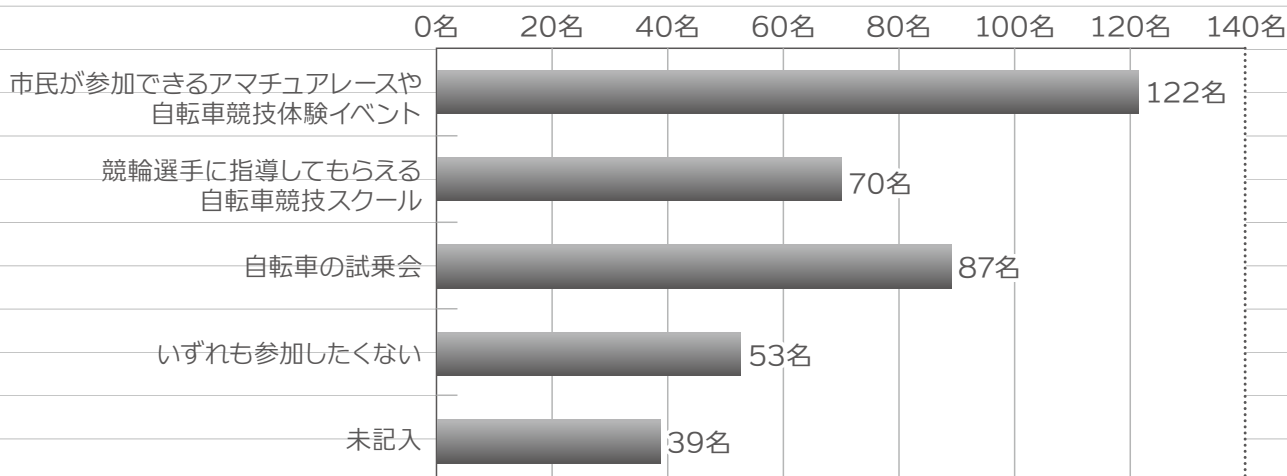


図19 競輪場を競技場として開放することについて、松阪競輪場来場者の回答結果

回答者：287名

2. 競輪選手に対するアンケート

競輪選手に対しては、「東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについてどのように思いますか」という質問をし、「頻繁にやるべき」「少しはやるべき」「どちらとも言えない」「やるべきではない」の四者択一とした。

その結果、120名の内「頻繁にレースを開催すべき」95名、「少しはやるべき」22名で、「やるべきでない」とした人はいなかった。

東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについて

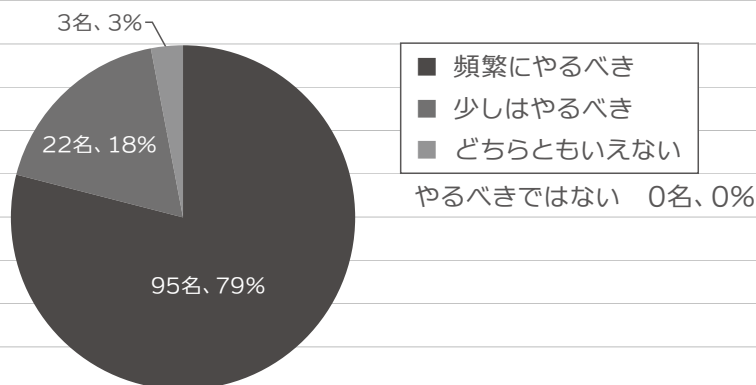


図20 競輪場を競技場として開放することについて、競輪選手の回答結果

回答者：120名

3. 競輪施行者に対するアンケート

競輪施行者に対しても選手と同様の内容でアンケートを実施した。

その結果、36名の内「頻繁にやるべき」10名、「少しはやるべき」18名、「やるべきではない」が2名であった。

東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについてどのように思いますか

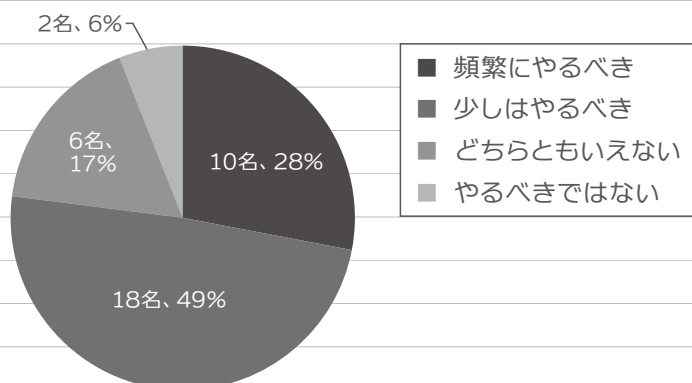


図21 競輪場を競技場として開放することについて、競輪施行者の回答結果

回答者：36名

4. 市民レース参加者に対するアンケート

市民レース参加者に対しては、「自転車トラックレースに対する興味についてあてはまるもの1つを選択してください」という質問をし、「よく見る」「もともと興味があったが今回参加して更に興味を持った」「もともと興味が無かったが今回参加して興味を持った」「興味が無い」の四者択一とした。

その結果、22名の内12名が「自転車トラックレースにもともと興味があったが、参加することにより更に興味を持った」と回答し、8名が「もともと興味が無かったが、参加して興味を持った」と回答した。その他は「トラックレースを良く見る」が1名、未回答が1名であった。

自転車トラックレースに対する興味について、あてはまるもの

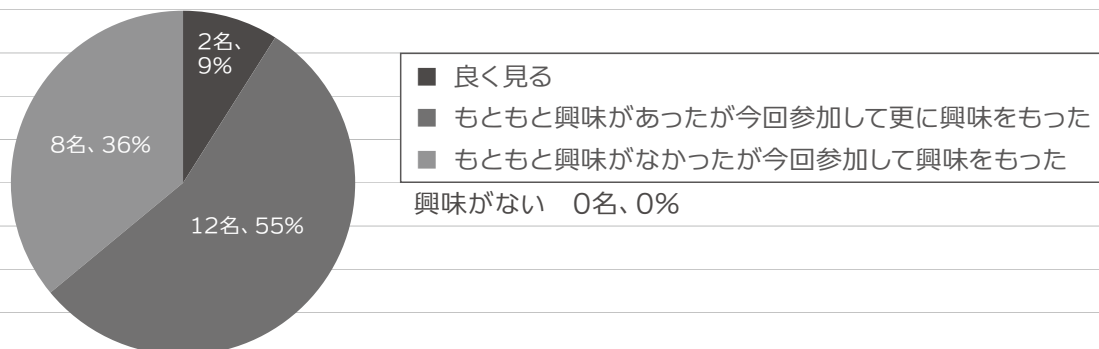


図22 競輪場を競技場として開放することについて、市民レース参加者の回答結果

回答者：22名

また、「競輪場でトラックレースの練習をしたり競輪選手による指導を受けることができるとすれば参加したいと思いますか」という質問をし「是非参加したい」「機会があれば参加したい」「参加したくない」の三者択一とした。

その結果22名中12名が「是非参加したい」、9名が「機会があれば参加したい」と回答した。

競輪場でトラック競技の練習をしたり、競輪選手による指導を受けることができるとすれば参加したいと思いますか

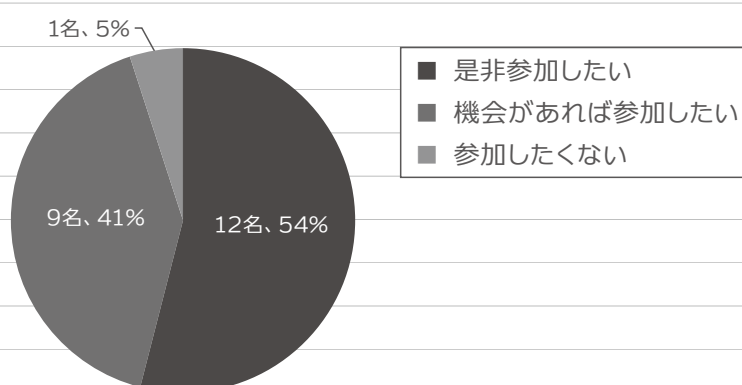


図23 競輪場を競技場として開放することについて、市民レース参加者の回答結果

回答者：22名

5. 世界戦観戦者に対するアンケート

世界戦観戦者に対して、「競輪場やベロドロームを走行してみたいですか」と質問し、「是非してみたい」「してみたい」「どちらとも言えない」「してみたくない」「全くしてみたくない」の五者択一とした。

その結果、102名の内43名が「是非してみたい」、33名が「してみたい」と回答した。9名が「してみたくない」、3名が「全くしてみたくない」と回答し、その他14名が「どちらとも言えない」と回答した。

競輪場やベロドロームなどトラックを走行してみたいですか

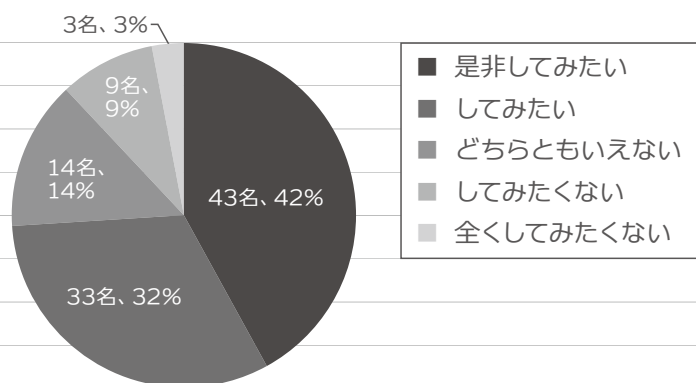


図24 競輪場を競技場として開放することについて、世界戦観戦者の回答結果

回答者：102名

第5節 KEIRINルールでの競輪開催について（ソフト面）の意識調査

1. 競輪場来場者に対するアンケート

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対して、オリンピックと同じルールで競輪が行われることについて「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一でアンケートを行った。

その結果、487名の内107名が「非常に良い」132名が「良い」と回答し、「非常に悪い」42名、「悪い」34名だった。

オリンピックと同じルールで競輪が行われること

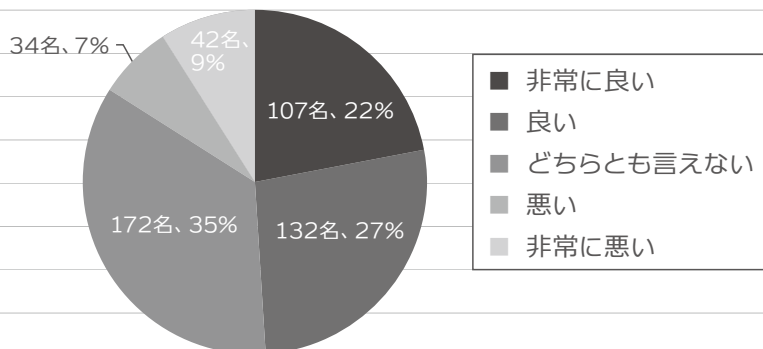


図25 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪場来場者の回答結果

回答者：487名

2. 競輪選手に対するアンケート

競輪選手に対して「日本人がオリンピックでメダルを獲れるようにするため、男子についてKEIRINルールで車券を発売することについてどう思いますか」という質問をし、「全てのレースをKEIRINルールにすべき」「多くのレースをKEIRINルールにすべき」「一部のレースをKEIRINルールにすべき」「KEIRINルールのレースはやらない方が良い」の四者択一とした。

その結果、119名の内「全てのレースをKEIRINルールにすべき」11名、「多くのレースをKEIRINルールにすべき」2名、「一部のレースをKEIRINルールにすべき」48名、「KEIRINルールのレースはやらない方が良い」58名と回答した

日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするため、男子についてKEIRINルールで車券を発売すること

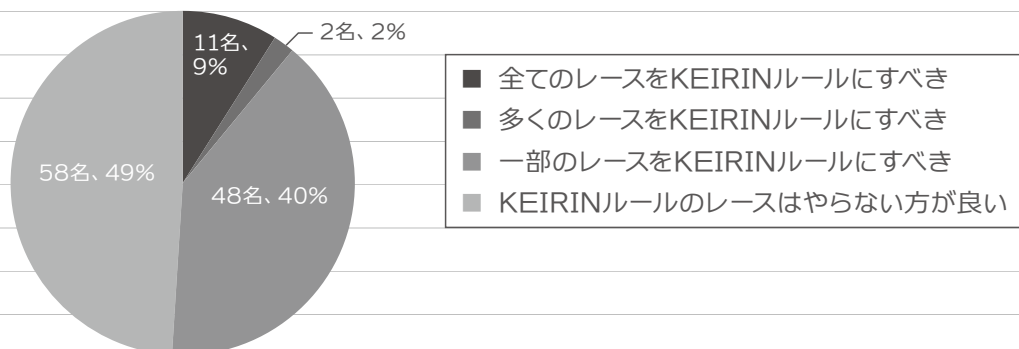


図26 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪選手の回答結果

回答者：119名

3. 競輪施行者に対するアンケート

競輪施行者に対しても選手同様のアンケートを実施した結果、34名の内1名が「全てのレースをKEIRINルールにすべき」、16名が「一部のレースをKEIRINルールにすべき」とし、17名が「KEIRINルールのレースはやらない方が良い」と回答した。

日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするため、
男子についてKEIRINルールで車券を発売することをどう思いますか

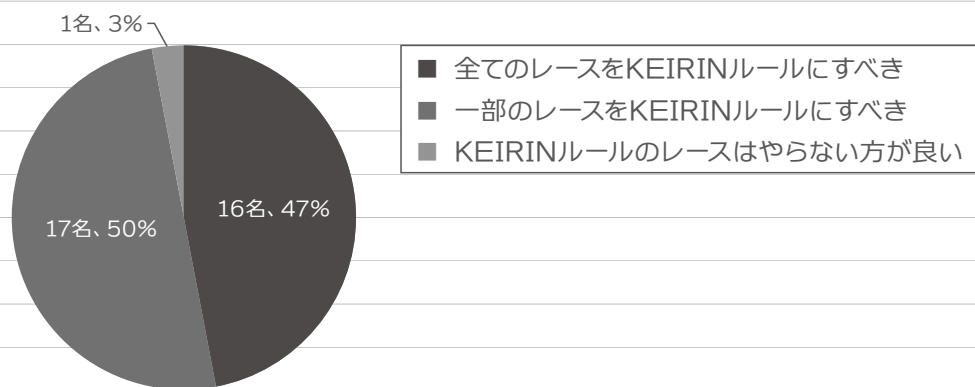


図27 KEIRINルールでの競輪開催について、競輪施行者の回答結果
回答者：34名

第6節 KEIRIN規格の競輪場設置について（ハード面）の意識調査

1. 競輪場来場者に対して

千葉競輪場と松阪競輪場、富山競輪場の来場者に対しては、「現在の競輪場がオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか」という質問をし、「非常に良い」「良い」「どちらとも言えない」「悪い」「非常に悪い」の五者択一とした。

その結果、354名の内92名が「非常に良い」、111名が「良い」と回答し、「非常に悪い」22名、「悪い」は21名であった。その他は未回答あるいは「どちらとも言えない」であった。

競輪場がKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか

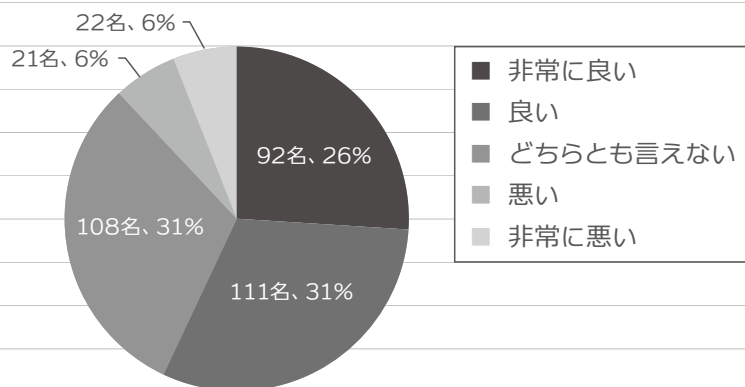


図28 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪場来場者の回答結果

回答者：354名

2. 競輪選手に対するアンケート

競輪選手に対して、「日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするために競輪場が250mの競輪場になることをどう思いますか」という質問をし「全ての競輪場を250mにすべき」「多くの競輪場が250mになるべき」「一部の競輪場が250mになるべき」「250mの競輪場は不要」「どちらともいえない」の五者択一とした。

その結果、120名の内「全ての競輪場を250mにすべき」が8名、「多くの競輪場が250mになるべき」が5名、「一部の競輪場が250mになるべき」が43名、「250mの競輪場は不要である」が45名、「どちらとも言えない」が19名であった。

日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするために競輪場が250mの競輪場になること

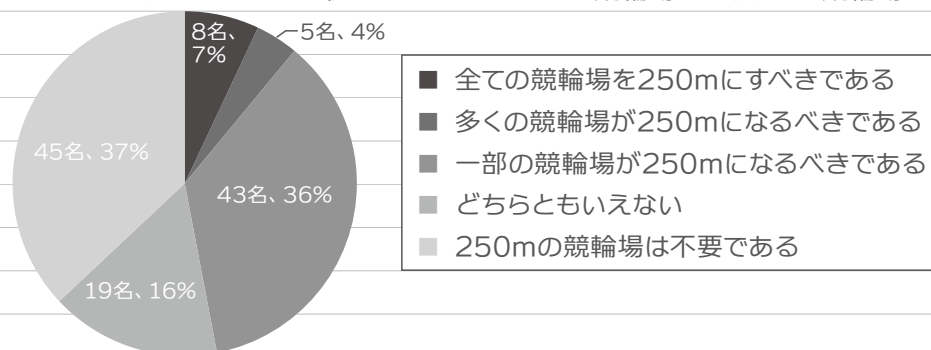


図29 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪選手の回答結果

回答者：120名

3. 競輪施行者に対するアンケート

競輪施行者に対しても、競輪選手と同様の内容でアンケートを行った。その結果、35名の内「全ての競輪場を250mにすべき」が1名、「多くの競輪場が250mになるべき」が1名、「一部の競輪場が250mになるべき」が9名、「250mの競輪場は不要である」が17名、「どちらとも言えない」が7名であった。

日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするため競輪場が250mの競輪場になることをどう思いますか

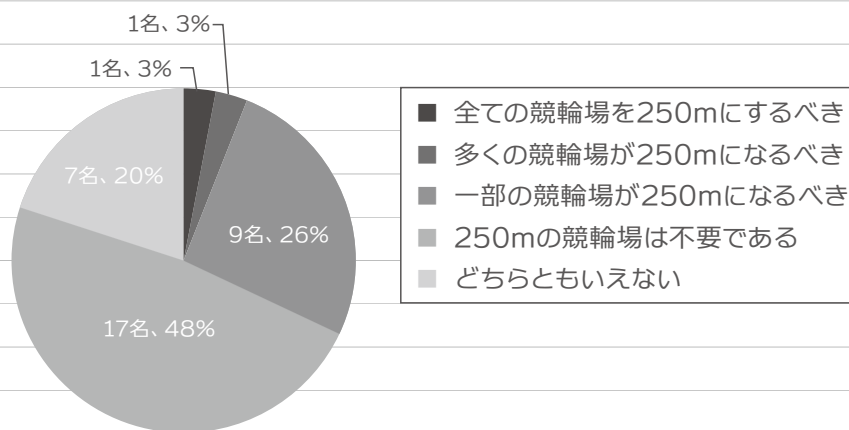


図30 KEIRIN規格の競輪場設置について、競輪施行者の回答結果

回答者：35名

第7節 競輪とKEIRIN についての意識調査

■ 第1項 レース内容の面白さ、見栄えの良さについて

1. 競輪場来場者に対するアンケート

千葉競輪場、松阪競輪場、富山競輪場来場者554名の内オリンピック種目のKEIRINを見たことがある人に対して「オリンピック種目のKEIRINを見てどう思いましたか」と質問し、「競輪より格好良い」「競輪より面白い」「競輪より格好悪い」「競輪よりつまらない」の選択肢で複数回答可で回答を求めた。

その結果、KEIRINルールのレースが「競輪よりつまらない」が197名、「競輪より面白い」が96名であった。

オリンピック種目のKEIRINを見てどう思いましたか（複数回答可）

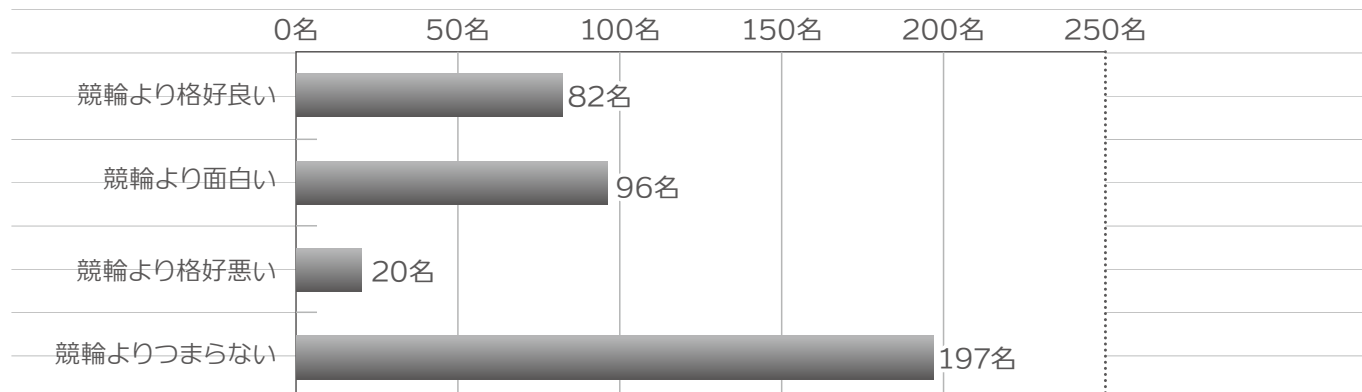


図31 レースの面白さについて競輪場来場者の回答結果

回答者：554名

2. 競輪選手に対するアンケート

競輪選手に対しては、「競輪とKEIRINを比較してレースの内容についてどう思いますか」という質問をした。

その結果、120名の内75名が「競輪の方が面白い」、4名が「競輪の方が面白くない」その他41名が「どちらとも言えない」と回答した。

競輪とKEIRINを比較して、レースの内容についてどう思いますか

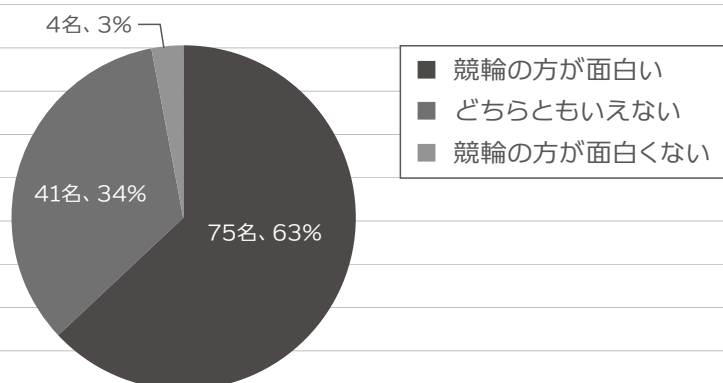


図32 レースの内容について、競輪選手の回答結果

回答者：120名

また、「競輪とKEIRINを比較して、自転車のスタイリングについてどう思いますか」「ユニフォームのデザインについてどう思いますか」「ヘルメットのスタイリング・デザインについてどう思いますか」と言う3つの質問をし、いずれも「競輪の方が格好良い」「競輪の方が格好悪い」「どちらともいえない」の三者択一とした。

その結果、117名の内「競輪の方が格好良い」が19名、「競輪の方が格好悪い」が59名、「どちらともいえない」が39名であった。

競輪とKEIRINを比較して、自転車のスタイリングについてどう思いますか

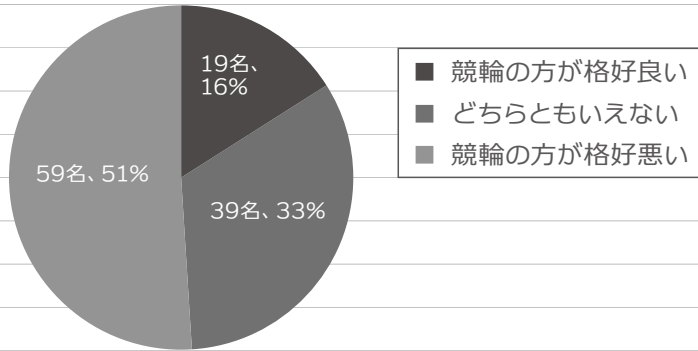


図33 自転車のスタイリングについて、競輪選手の回答結果

回答者：117名

「ユニフォームのデザインについてどう思いますか」という質問では119名のうち「競輪の方が格好良い」が12名、「競輪の方が格好悪い」が68名、「どちらともいえない」が39名であった。

競輪とKEIRINを比較して、ユニフォームのデザインについてどう思いますか

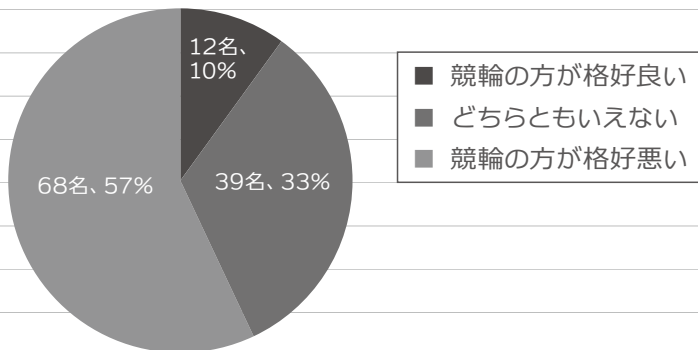


図34 ユニフォームのデザインについて、競輪選手の回答結果

回答者：119名

「ヘルメットのスタイリング・デザインについてどう思いますか」では120名のうち「競輪の方が格好良い」が5名、「競輪の方が格好悪い」が89名、「どちらともいえない」が26名であった。

競輪とKEIRINを比較して、ヘルメットのスタイリング・デザインについてどう思いますか

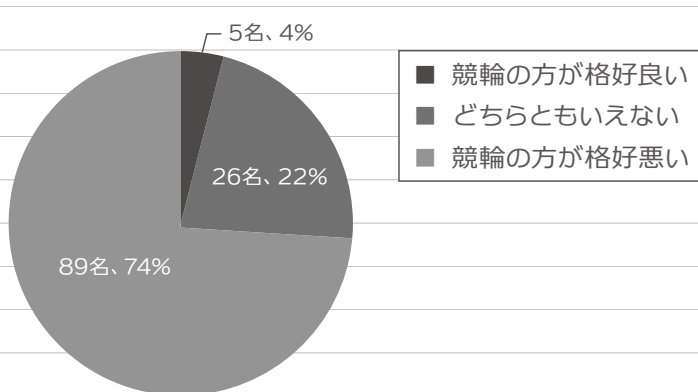


図35 ヘルメットのスタイリング・デザインについて、競輪選手の回答結果

回答者：120名

3. 市民レース参加者に対するアンケート

「競輪とKEIRIN、どちらに興味ありますか」と質問し、「競輪」「KEIRIN」「両方興味ある」「どちらも余り興味がない」の五者択一とした。

その結果、20名の内18名が両方に興味があると回答した。

競輪とKEIRIN、どちらに興味がありますか

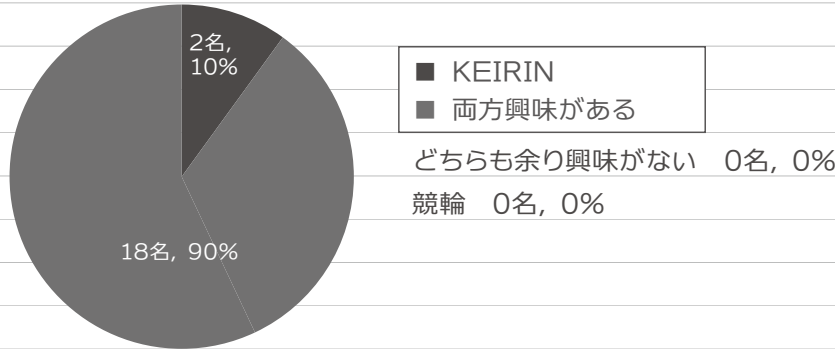


図36 競輪に対する興味について、市民レース参加者の回答結果
回答者：20名

4. 世界戦観戦者に対するアンケート

「競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINでは競技としてどちらが面白いですか」と質問した。

その結果、101名の内「競輪の方が断然面白い」「競輪の方が面白い」が30名であったのに対して、「今回のKEIRINの方が面白い」「今回のKEIRINの方が断然面白い」は39名であった。

競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINでは競技としてどちらが面白いですか

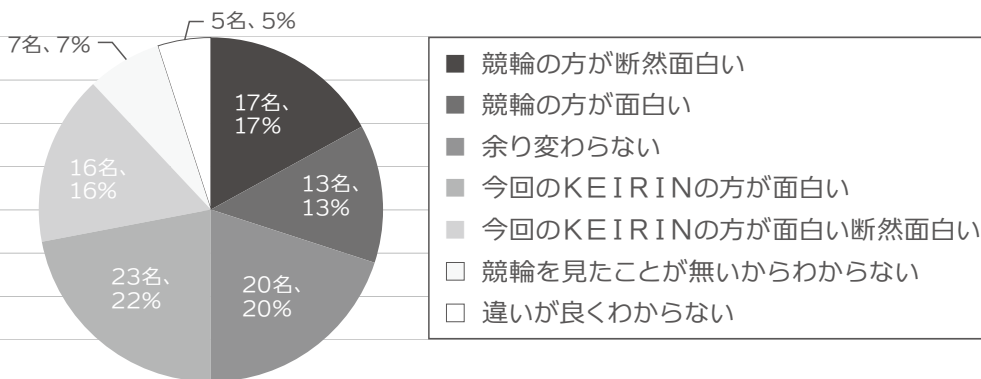


図37 レースの内容について、世界戦観戦者の回答結果
回答者:101名

また、「競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINではユニフォーム・自転車はどちらが格好良いと思いますか」と質問した。

その結果、102名の内「競輪の方が断然格好良い」「競輪の方が格好良い」の合計が17名であったのに対して、「今回のKEIRINの方が格好良い」「今回のKEIRINの方が断然格好良い」の合計は72名であった。

競輪場で行われている競輪と今回のレースではユニフォーム・自転車はどちらが格好良いと思いますか

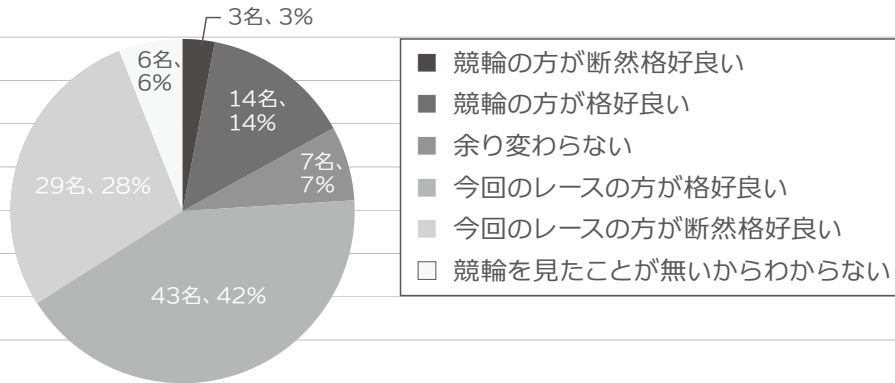


図38 ユニフォーム、自転車のスタイリングについて、世界戦観戦者の回答結果
回答者：102名

■ 第2項 競輪場への来場意欲等について

1. ネット調査

首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）関西圏（大阪、京都、兵庫、奈良）在住のスポーツサイクルを楽しんでいる方に、「各公営競技（競馬、競輪、ボートレース、オートレース）について、実際に競技場に行きたいと思いませんか」と質問したところ、競馬については、201名の内59名が「行ってみたい」あるいは「機会があれば行ってみたい」と回答したのに対して、競輪では23名であった。

首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）関西圏（大阪、京都、兵庫、奈良）在住の一般の方に通常開催時の競輪場、グレードレース開催時の競輪場、海外のKEIRIN規格のトラックレースの写真を見せて「ご覧頂いた競輪場についてお聞きします。あてはまるものを1つだけお選び下さい」と質問し、「このような競輪場に行ってみたいと思う」について、「とても当てはまる」「まあ当てはまる」「どちらとも言えない」「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の五者択一とした。

その結果、1040名の内「とても当てはまる」「まあ当てはまる」の合計は通常開催時については66名、グレードレース開催時については131名、海外のKEIRIN規格のレースについては307名であった。「車券を買って参加したいと思う」という質問では1040名の内「とても当てはまる」「まあ当てはまる」の合計は通常開催時については50名、グレードレース開催時については88名、海外のKEIRIN規格のレースについては185名であった。

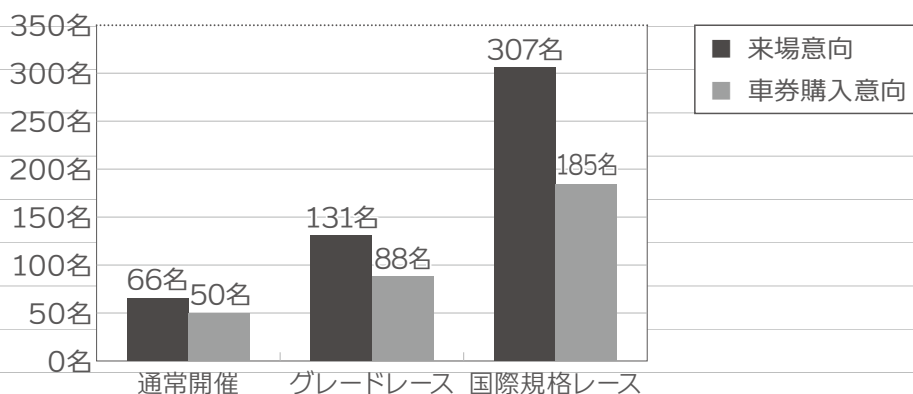


図39 来場意向、車券購入意向について、ネット調査の回答結果

回答者：1040名

さらに、1040名の内201名のスポーツバイク所有者に来場意向を聞いたところ、海外のKEIRIN規格のレースについては98名が行きたいと回答した。

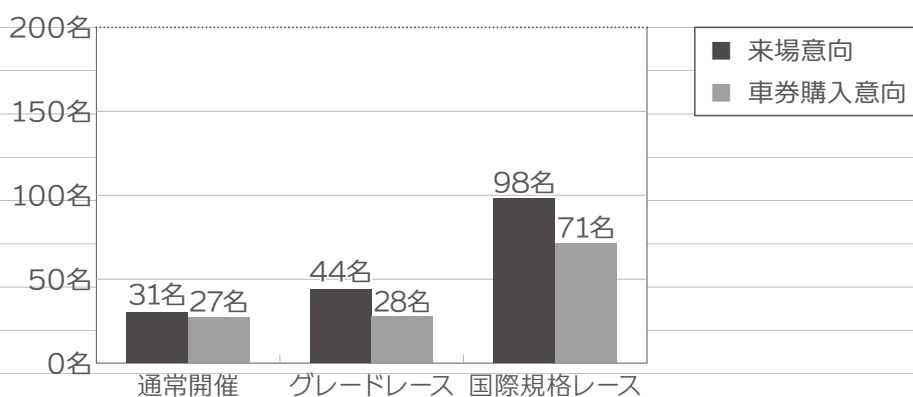


図40 来場意向、車券購入意向について、スポーツバイク所有者の回答結果

回答者：201名

2. 世界戦観戦者に対するアンケート

世界戦観戦者に、「今日のレースで車券を購入できたらしてみたいですか」と質問したところ、103名の内61名が「してみたい」と回答した。また、この61名のうち、40名がスポーツバイクを所有していた。更に、この回答者102名のうち、車券購入未経験者は42名で、そのうちの18名が「今日のレースで車券を購入できたらしてみたい」と回答した。

今日のレースで車券が購入できたらしてみたいですか

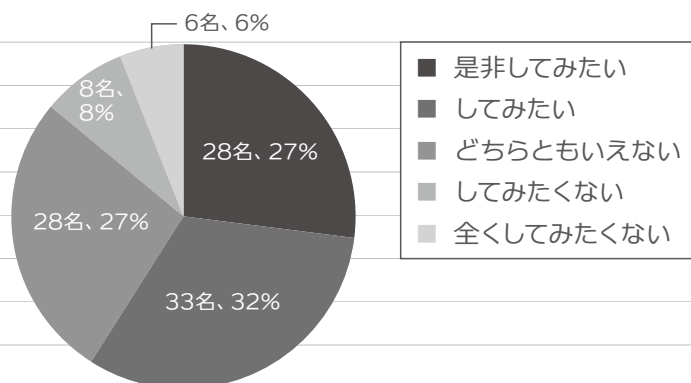


図41 車券購入について、世界戦観戦者の回答結果

回答者：103名

第4章 考察

本研究では、競輪場が自転車競技普及の拠点として活用される可能性を探り、競輪再生への打開策を明らかにするために、オリンピックでのメダル獲得・競輪場の開放・KEIRINルールでの競輪開催・KEIRIN規格の競輪場設置・競輪とKEIRIN についてアンケート調査を行った。

第1節 競輪場を自転車競技の普及拠点として活用

■ 第1項 競輪場開放の必要性

今回のアンケート結果から、年齢層を問わず競輪ファンは競輪選手がオリンピックでのメダル獲得を期待していることが分かった。これはファンが競輪をギャンブルとしてだけではなく、スポーツ、自転車競技としても楽しんでいることの証左と考える。これは、筆者が競輪場運営の経験から実感していたことを裏付ける結果となった。

また、競輪場で働くスタッフも競輪選手が世界で活躍することによって仕事への誇りが持てるようになることも実証された。スタッフが仕事に誇りを持つことにより、サービスマインドが醸成され、競輪場のホスピタリティの向上にもつながる。これは今の競輪場の雰囲気を変えるためにも欠かせないモチベーションとなるだろう。久保(2007)も、競輪が地域住民に受け入れられるためにはまず働いているスタッフが誇りを持てる環境を作ることが必要であるとしている。

確かに、オリンピックでのメダル獲得は競輪の再生の大きなきっかけであり、特に東京オリンピックは競輪を復興させる千載一遇のチャンスといえよう。しかしながら、競輪選手の過去のメダル獲得時を振り返ると、自転車トラックレースと言う世界的人気スポーツであるにも関わらず、あまりメディアに露出せず、結果として競輪選手の認知・人気・ステイタスが向上したとは言いがたい。来場者以外の一般の方はもちろん、サイクリストの間でさえも競輪選手メダリストの認知度が低いことは今回の調査でも確認されている。これは競輪関係者が、競輪＝ギャンブル、競輪場＝ギャンブル場、競輪選手＝ギャンブルの駒としてのみ認知させてきた結果と推察される。

競輪再生の為に今後は、競輪のギャンブルとしての側面だけでなく、スポーツとしての側面も認知させるべく、自転車トラックレースの全体の認知、人気を向上させ、競輪選手のメダル獲得にむけ国民全体で応援する機運を作る必要がある。その為には、まず競輪関係者が中心になり、ファンと一緒に競輪選手のメダル獲得を応援する機運を作り、それを外部に発信し、これまで競輪を単なるギャンブルとしてしか見てこなかった人や競輪を知らない人を巻き込んで国民的なスポーツへと発展させること、そしてその発展の拠点として競輪場が活用されることが必要である。

一方で、一般の人の2割近くの人がスポーツバイクに乗っていること自体も新たな発見であった。このように身近にありながら、競輪への興味が薄いことは重大な問題である。スポーツバイクに乗るなど自転車に近い人達の公営競技に対する興味を見ると、競馬がトップで、その他競輪、ボートレース、オートレースに対する興味は横ならびである。これは、競輪が他のギャンブル同様のギャンブルとしてのみ認知され、自転車競技としての魅力を認知させられていないことの証左と言えよう。

スポーツサイクリストに競輪場を開放し、実際にトラックを走る機会を提供し、トラックレースを体験してもらうことが有効であることも今回の市民レース参加者アンケートで明らかになった。従って、競輪の魅力を認知させるためにも、自転車競技を普及させるためにも競輪場の開放が必要且つ有用であると考ええる。

筆者は実際にトラックレースにもロードレースにも参加し、また実行委員としても運営にも携わっている。日本では現在ロードレーサーの販売が好調で都市部を中心にスポーツサイクリストが増加している。しかし、都市部の道路事情は決してスポーツサイクルに適したのではなく、むしろ交通事故やマナー、ママチャリとの共存など社会問題すら引き起こしている。つまり、自転車で思いっきりスピードを出したり、競技をしたい人は沢山いるが、それに適した環境が用意されていないのである。

ロードレースの開催は道路の封鎖を伴うため、警察の許可や警備の問題など非常に大掛かりである。しかし、いつでも思いっきりスピードを出すことができ、レースも開催できる競輪場は当にスポーツサイクリストが求める手軽なスポーツ競技場になりうるものであり、そのような活用は市民の求めるところである。関して、松阪市の山中光茂市長は、インタビューに対して、「赤字であっても市民にスポーツ施設として使用されるなどして、地域の活性化に繋がるものとして市民に理解されるのであれば競輪事業を継続したい」と回答している。

この点松倉(2011)は、「イギリス自転車競技連盟の事務局はマンチェスターのトラック自転車競技場内にある。この競技場は屋内トラックであるという特性を生かして、冬季を含めて夜間のトレーニングが可能であり、毎週定期的に小学生の初心者講習会が開催されている。」と指摘し、日本の自転車競技の状況に関してはとりわけ普及面が低水準にあり、

普及面での施策をまずは重点的に施すべきではないかと思慮される。」「日本においても、多くの人口を抱える大都市近郊にこうした拠点を確保することが登録者の増大など普及に寄与すると考えられる。」としているが、これは当に競輪場こそが果たすべき機能である。

そして日本には全国各地に44 か所の競輪場を含めてトラックが68 か所存在する。これらの全てがトラックアリーナとして開放されれば、現在のスポーツサイクルブームと相まってトラックレースを楽しむ人が増え、競輪の認知、ステイタスが向上することになる。そして、子供達がそこに参加することによって将来のメダリストの育成に繋がることになる。

競輪場も競輪競技も競輪選手も日本を自転車競技大国にする可能性を秘めた貴重な国民的財産であり、競輪場を保有する自治体にとっては、市民が活用できる大きな財産であり、これを無駄にしてはならないと考える。更に、既に述べた様に、競輪の賞金が他の自転車競技の賞金と比べて著しく高額になり、アマチュア自転車競技のトップ選手、特にトラックレースのトップ選手の多くが競輪選手を目指すという構図にある以上、競輪が自転車競技の普及・強化施策を牽引していく体制を作らなければ日本の自転車競技の未来は無いと考える。

■ 第2項 競輪場開放の可能性

競輪場の開放については、女性や若いファン、サイクリストが希望するのは予想できたが、競輪場へ来ている人もこれを良いと考えていることが分かった。

松倉(2011)は、「競輪場の所有者レベルには危機意識があり、アマチュアの大会誘致や練習への開放に対して積極的な意向がある一方、現場レベルにはそうした危機意識よりも管理面の煩雑さを嫌う意識が強い。」としている。

確かに、そのような傾向が無いとは言えず、関係者に対して丁寧な調整を行う必要はあるが、少なくとも当社が運営している競輪場においては徐々に改善されており、頻繁とまでは言えないが、継続的にアマチュアによる自転車競技が実施されている。競輪場は自治体の施設である以上、ギャンブラーとしての競輪ファンに限らず、市民に広く有効活用されるべきものであることは明らかであり、理解を得ることは可能なはずである。実際、今回のアンケートでも競輪施行者の中に競輪場を開放することについて全員が「やるべき」と回答している。

また、松倉(2011)は「競輪場では競輪が開催されていない日でも、場外車券発売をしている日程が多くなり、場外車券を買うために来た顧客と大会参加者の利用領域が不明瞭となり、駐車場などでトラブルになる例が多い。また、場外車券発売締め切り時のブザーと競技運営のピストル音が重ならないように競技を一時中断するなど、大会運営に適した環境ではない。場外車券を購入する目的で来ている客が女子選手に下品なヤジを飛ばすなど、スポーツ大会として好ましい環境とは言えない。」とも指摘している。

この問題点も、運営や来場者との日頃のコミュニケーションにより十分解決可能である。大半の来場者はアマチュアレースの開催等を歓迎しており、反対するお客様には開催の意図を伝えて丁寧に説明することなど手間はかかるが解決できない問題ではない。実際に昨年千葉競輪場において六大学対抗自転車トラックレース大会を開催した際、場外車券発売を開催中に来っていた高齢の来場者が何人も興味を持って観戦し、「こういうイベントを頻繁にやって若い人に来て貰わないとね」とスタッフに声をかけてきた。学生選手や応援に来ていた各校の応援団・チアリーダー・プラスバンドのメンバーに文句を言う人など一人もいなかった。結局は運営者側の思い、姿勢が伝われば来場者も理解をしてくれるのである。

また、松倉(2011)は「競輪選手・選手会が、練習時間が減るために大会誘致に賛成しない場合がある。」とも指摘している。しかし、今回、回答した選手はだれ一人として反対していなかった。確かに中にはそのような考えを持つ選手もいるだろう。しかし、極めて稀でむしろ「自治体が運営する施設だから、もっと地元の愛好家に開放すべき」「競輪選手をアピール出来る場でもあると思うので沢山イベントをするべきである」など積極的な受入れの声が聞かれた。実際、当社が運営する競輪場の選手・選手会などは、アマチュアの指導をしたり、レースの運営を手伝ってくれるだけでなく、実現に向けて関係者との調整もしてくれるなど、極めて協力的である。

また、松倉(2011)は「競輪選手・選手会が、練習時間が減るために大会誘致に賛成しない場合がある。」とも指摘している。しかし、今回、回答した選手はだれ一人として反対していなかった。確かに中にはそのような考えを持つ選手もいるだろう。しかし、極めて稀でむしろ「自治体が運営する施設だから、もっと地元の愛好家に開放すべき」「競輪選手をアピール出来る場でもあると思うので沢山イベントをするべきである」など積極的な受入れの声が聞かれた。実際、当社が運営する競輪場の選手・選手会などは、アマチュアの指導をしたり、レースの運営を手伝ってくれるだけでなく、実現に向けて関係者との調整もしてくれるなど、極めて協力的である。

更に松倉(2011)は「運営に関わる競技会が備品の管理面から立ち入り区域を厳しく制限し、本格的大会運営には支障がある」と指摘している。確かにそのような側面は否定できないが、これもハード面、ソフト面の調整によって改善は可能である。

このように、競輪場を自転車競技施設として開放することは可能であると考えられる。

第2節 強化・資金獲得としての競輪場の活用

■ 第1項 KEIRINルールでの競輪開催について

KEIRIN ルールでの競輪を開催は、競輪選手のメダル獲得に有用と考える。

この点約半数の選手がKEIRIN ルールのレースを開催すべきとし、施行者は4割強がKEIRINルールのレースを開催すべきとしている。これに対して、来場者はKEIRINルールの競輪開催を「非常に良い」あるいは「良い」と考えている人が「悪い」「非常に悪い」と考えている人の3倍以上であった。これはむしろ来場者である既存のファンの方がKEIRINルールでの競輪の可能性を認識し、あるいは競輪事業全体に対する危機感を持っているからとも考えられる。筆者は松阪競輪場の運營業務の受託に当たり、公開プレゼンテーションを行ったが、その際に、ファンから多数の質問・暖かい激励を頂いた。ファンは現在危機的状況にある競輪事業の存続に高い関心を持っているのである。

KEIRINルールのレースに開催については、オリンピックを目指す選手にとって有用であるが、日本の競輪と異なり、怪我が少なくなることもメダル獲得へのメリットと言えよう。強化選手が落車の多い日本の競輪で走って怪我をすることを回避できるからである。

更に、現在既に海外の一流トラックレース選手が競輪選手の短期登録制度と言うシステムを使って日本の競輪を走っている。彼らをKEIRINルールの競輪に出場させ、日本のオリンピック強化指定選手と対戦させることができれば、更にメダルは近付くとともに国民の関心を集めることができよう。

■ 第2項 日本の競輪とKEIRIN

本調査でも日本の競輪に比べKEIRIN の見栄えの評価が圧倒的に高かった。KEIRINはルールが簡単で、ファッション性が高いことから、新たなファン獲得に繋がるものとして実現していくべきと考える。特に昨今のサイクルスポーツブームによってカーボンフレームを中心にイタリア・フランス・ベルギーなどヨーロッパの洗練された高級ロードバイクを目にする機会が多くなっている。学生のアマチュア選手がカーボン製の洗練されたフレーム・ホイールで自転車競技を行う中、プロの競輪選手の自転車・ユニフォームが上記の様なものであることは一般の方に対して競輪のスポーツ性を訴えるには大きなハンデと言わざるを得ない。

特に、日本の競輪では、車番によって色の決まった同じユニフォームを着用しているが、これはスポンサー獲得にとっても障害となる。企業の多くは自社のイメージカラーを持っているのが通常であり、自社のイメージに合うデザインのユニフォームを着用させたいと思う上に、選手がレース毎に違う色の、しかも他の選手と同じユニフォームを着用するのは広告効果が極めて低くなるからである。

他方で、既存ファンはKEIRINよりも日本の競輪の方が面白いと考えていること、選手も同様で、日本の競輪の方が面白いと感じており、一部の競輪のみがKEIRINになるべきという意見が大半であった。従って、全ての競輪をKEIRINに移行するのではなく、日本の競輪とKEIRINを両立させることが重要と考える。

競輪選手がメダルを取って認知されたり、ステイタスが上がったり、自転車トラックレース人口が増えたりしても車券の売上には繋がらないのではないかという話も聞くことがある。確かに、自転車トラックレースの認知度を上げて車券の売上を向上させるには時間のかかることかもしれない。しかし、そもそも最近の若者のギャンブル離れや少子化、レジャーの多様化という現状からすると、「いきなり公営競技でギャンブルをしましょう」と言って新しいファンを獲得することはハードルが高い。これは、やはり競輪場運營業務を行っている経験上からも言えることである。むしろ、ある程度の時間をかけて今後の競輪業界の将来のために着実に新しいファンを増やしていくことこそが必要なことと考える。

■ 第3項 KEIRIN規格の競輪場による競輪

もっとも、今回のネット調査における一般人のKEIRIN 規格の競輪場による競輪についての参加意欲が極めて高かった（来場意向約3 割、車券購入意向2 割弱）ことからすると、KEIRIN 規格の競輪場によるエンターテインメント性の高い競輪が実現すれば、一気に新しいファンを獲得できる可能性もあると考える。更に、ネット調査で一般人の2 割近くいたスポーツバイク所有者においては、KEIRIN 規格の競輪場への来場意向は5 割近い数字に達しており、世界戦観戦者においては、約6割であった。この数字は、レジャー白書（2013）（注）による競輪参加率が1.1%、参加希望率が1.6%、JRA の参加率・参加希望率がともに9.4%であることと比較しても驚異的であり、少なくとも競輪がJRA を凌ぐ可能性を持っていることが明らかになった。この事実、スポーツバイク所有者に自転車トラックレースを体験させてトラックレー

スへの興味を喚起することと並行してKEIRIN規格の競輪やこれと同様のファッショナブルな競輪を実現すべきことを示唆している。それゆえ、老朽化している競輪場の建替え時にはKEIRIN規格の競輪場の設置も検討されるかもしれない。

松倉(2011)は競輪場が自転車競技普及の本格的拠点となりえない理由として、「競輪場は走路規格が競技規則を満たしておらず、原則として記録が公認されない。また、競輪場の多くは周長400mであり、現在国際基準である250mと余りに差が大きく、周長の差によるレース形態の差も大きい。」と指摘する。しかし、現在の競輪場は耐震や老朽化の問題から建て直しをしなければならない競輪場も多い。従って、建て直しの際にKEIRIN規格のトラックを建設することは不可能ではない。単なる自転車競技だけのためのトラックを建設するよりも競輪場として車券発売のできるトラックの方が建設コストを回収しやすいのは言うまでもない。

なお、松倉(2011)は、「競輪場は暴動を防止するため、選手と観客、審判と観客を隔絶する施設構成になっており、観客・選手・審判のコミュニケーションを重視するスポーツとしての自転車競技大会の会場に適していない面がある。」と指摘している。

確かに、KEIRIN規格のトラックでは、トラックの周囲にフェンスが無く、観客がスタンド前のトラックの外周のせり上がり部分を叩いて応援できるような構造になっているのに対して、今の競輪場の多くはスタンドとの距離もあり、二重構造の高いフェンスが設置されている。また、八百長の防止という観点から選手と観客、審判と観客は隔絶された構造になっている。

今後KEIRIN規格の競技場で競輪を行う場合、選手と観客の一体感や競技性、ファッション性を演出しつつ、競技の公正や八百長の防止を図ることを如何に両立させていくかは、重要な課題となっていくだろうが、それは今後の研究に委ねたい。

(注) レジャー白書2013 の調査方法・内容

調査対象20 歳～79 歳の男女 調査方法 インターネット調査

有効回答数3,334 人 調査期間 2013 年1 月

参加率 当該余暇活動を1 年間に1 回以上行った人の割合

参加希望率

当該余暇活動を将来やってみたい、あるいは今後も続けたいとする人の割合

第3節 競輪場と競輪の再生への提言

競輪はトリプルミッション達成の為の強みを有しているにもかかわらず、競輪場はこれまで単なるギャンブル場としてのみ活用され、自転車競技の普及・強化の場所としては殆ど活用されて来なかった。その為日本の自転車競技、特にトラックレースの普及は欧米やオーストラリアなどに比べて著しく遅れている。

しかし、全国に競輪場を含んで68 か所もあるトラックと言う手軽な競技場は自転車競技の普及・強化に最適な場所であり、これを開放することが現実的に可能なことが裏付けられたと言えよう。競輪場を自転車競技の普及拠点にすることは必要かつ可能であり、そのことが新たな競輪ファンの獲得、競輪の再生に繋がる。

そして、オリンピックでのメダル獲得を考えると、競輪をKEIRIN規格のルールで行うことも重要である。そして、メダル獲得への応援機運を国民全体のものにしていく必要があり、そのためには、競輪場を開放し、自転車トラックレース人口を増やし、自転車トラックレース自体の認知度、人気を早急に高めていくことが極めて重要である。

また、更に東京オリンピック、いや、その前のリオデジャネイロオリンピックに向けて周長250mのKEIRIN規格の競輪場を建設することが急務である。リオでのメダル獲得があつてこそ東京オリンピックでのメダル獲得機運が高まるのである。

その他、競輪選手のメダル獲得には、オリンピックを目指す選手の支援制度やバイクの開発、トレーニング方法やマッチメイクなど様々なお金のかかる取り組みが必要となる。

しかし、少なくとも競輪場を競技場として開放することは、お金を掛けずにすぐにでもできる効果的な競輪の普及方法であり、全ての競輪場が直ぐにでも取り組むべきことであると提言したい。

トリプルミッションの観点から競輪のあるべき姿を示したのが下記の図である。

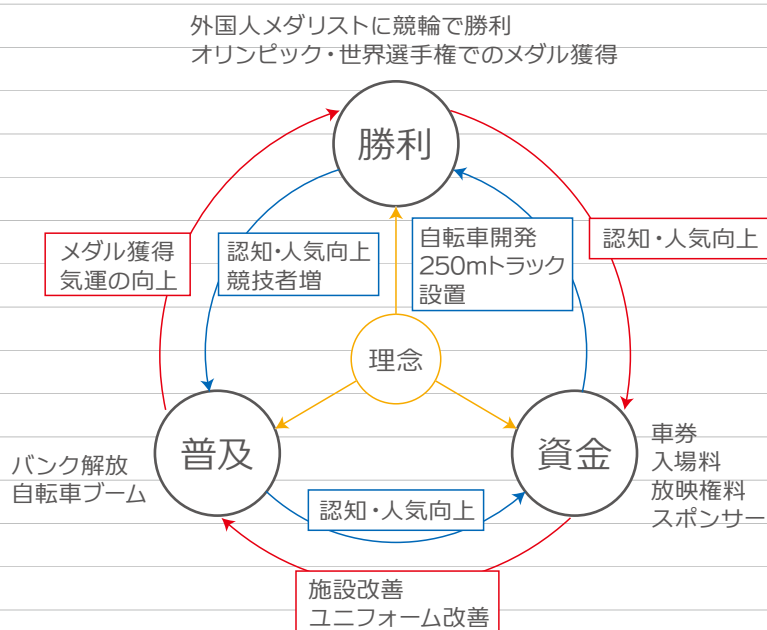


図42 競輪のトリプルミッション（筆者作成）

まず、競輪場を競技場として開放する。サイクリストを誘致してトラックレースを体験させる。トラックレースを行う人が増えれば、トラックレース用のバイクの販売台数も増え、競輪場や競輪選手の認知も高まる。さらに彼らの口コミによって話題になり、メディアにも取り上げられるようになる。

他方で、来場者を含めた競輪関係者で競輪選手のメダル獲得機運を高めていく。上記のように競輪や競輪選手の認知が高まれば、この気運は競輪関係者だけでなく、自転車愛好家、スポーツ観戦愛好者にも広がって、国民的機運になる。

その中で、競輪選手が世界で活躍し、あるいは競輪で世界のトップ選手に勝利することによって更に人気、認知が向上する。

選手の人气が高まれば、車券売上が上がるのはもちろん、グッズ販売、入場料、放映権収入やスポンサー料も獲得できる。もちろん、ユニフォームの改善や競輪場の雰囲気、ホスピタリティの改善は必須である。

これらの収益をKEIRIN 規格のトラックの設置や自転車開発などに回すことができれば、さらなる強化、普及につながる。

こうした好循環を生み出すことが競輪では可能であると考えられる。

第4節 研究の限界

本研究は競輪に関わる人々の一定の意見を反映していると言える。しかしながら、3つの競輪場に來た人の意見であり、他の地域については更に検討が必要である。選手においても同様に予期せぬバイアスがある可能性は否定できない。こちらも更なる調査が必要かもしれない。競輪は先行研究も少なく、研究の余地が沢山ある分野である。競輪の発展、競輪場の再生のために更に様々な研究を積み重ねる必要がある。

第5章 結論

来場者や競輪選手、競輪施行者、および一般市民へのアンケート調査の結果、競輪場を積極的に多くの市民への開放は可能であることが明らかとなった。競輪場が自転車競技の普及・強化の普及となるだけでなく、多くの市民に利用され市民の健康やスポーツの拠点としての役割を果たすことが、競輪再生、競輪のトリプルミッションの好循環へ導くカギとなる。

第6章 謝辞

本論文の執筆の機会を与えて下さり、厳しく且つ暖かくご指導下さった平田竹男教授に心より深く感謝いたします。副査の中村好男先生、児玉有子先生にも深く感謝申し上げます。その他早稲田大学スポーツ科学研究科でご指導下さった先生方にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。修士2年制の三澤翼氏、久保谷友哉氏、山本亜雅沙氏、李トウフウ氏もお礼を申し上げます。本研究にご協力下さった、ご来場者の方々、施行者様、選手の皆様に深く感謝いたします。そして激動期にある公営競技業界の中で執筆する環境を与えてくれた当社スタッフにも感謝の気持ちを表します。

本論文の執筆により、競輪に対する可能性を再認識することができました。また、執筆の過程でご協力頂いた他のスポーツ界その他の業界でリーダーとして活躍しているゼミの同級生から多くの刺激と学び、勇気と力を得たことで、縁あって携わってきた競輪・自転車競技に対する思いを更に強くすることができました。同時に他のスポーツ業界の話聞くことによって如何に競輪に優位性があるか、如何に自分たちにやらなければならないことがあるかを実感することができました。

様々な方々のおかげでこのような貴重な経験をさせて頂くことができました。皆様とのご縁に感謝するとともに、今後ともスポーツによる心豊かな社会の実現のために少しでもお役に立てるよう努力を惜しまないことを御約束して本稿を締めくらせていただきます。

参考文献

・平田竹男

『スポーツビジネス 最強の教科書』(2012年10月東洋経済)

・松倉信裕

『日本における自転車競技の課題と施策に関する研究 イギリス・ベルギーとの比較を中心として』

(2011年度早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻 トップスポーツマネジメントコース修士論文)

・安福 洋一

『競輪界の更なる普及・発展に関する研究』

(2010年度早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学 専攻 トップスポーツマネジメントコース修士論文)

・産業構造審議会車両競技分科会

『競輪事業のあり方検討小委員会』報告書 (2011年6月)

・公益財団法人 日本生産性本部

『レジャー白書2013「やめる理由 はじめる理由 ― 余暇活性化への道筋」』(2013年8月8日)

・川村昌代、金子哲士、三嶋伸一

『事業仕分け第2弾 後半戦 どう切り込むか 競輪 オートレース ギャンブル公益法人に巣くう官僚の実態』

(週刊朝日 115:24-26.2010年5月28日)

・瀬戸比呂志

『蛮勇をふるって改革に取り組む』(特集 KEIRIN2000年問題を考える 時評 42:96-99.2000年3月)

・鈴木直

『競輪の実施機関に自転車競技会を新設—公営競技の改正』(時の法令:1-7.1962年7月13日)

・鳴海正泰、今正一

『東京都民の競輪に関する世論調査の報告』(都市問題 51:941-952.1960年8月)

・山田貴史

『「公営競技行政」成立に関する研究 競輪の組織・構造を中心に』(Iphigeneia, (3)107-125.2005年)

・中川照文

『競輪草創期の史的考察 -騒擾事件を中心に-』(スポーツ史研究17号2004年)

『米国施政下・琉球諸島での競輪移入計画についての史的考察』(スポーツ史研究18号2004年)

『自治体の「打ち出の小槌」復活のために-新たな魅力で集客力を取り戻す』(2005年11月21日地方行政)

『かん言かん言 公営競技の明日を憂う!!』(誠明舎 2007年2月)

別途資料：アンケート設問一覧

■ 千葉競輪場従業員に対するアンケート 実施日：平成25年3月15日 回答人数：85名

設問	回答形式
車券を買ったことがありますか	選択式回答
車券を購入する目的は何ですか	選択式回答
選択肢のうち、やったことのあるギャンブルを選択してください	選択式回答
本競輪場以外の競輪場に行ったことがありますか	選択式回答
現在の仕事、職場に誇りを持っていますか	選択式回答
以下の各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについてどのような影響を与えていると思いますか（現状は別として）	選択式回答
本競輪場の現状を評価してください	選択式回答
競輪場に知人を誘ったことはありますか	選択式回答
なぜ誘ったことはありませんか	選択式回答
どのようなときに誘いましたか	選択式回答
どのように誘いましたか	記述式回答
競輪場に子供が来ることをどう思いますか	選択式回答
子供が来ることをどう思うかについての回答理由	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
好きな競輪選手の名前	記述式回答
千葉所属の選手を何人知っていますか	記述式回答
選手会千葉支部が年間を通じて知的障害者施設への支援活動を行っており、且つ長年の継続が評価されJKAから特別功労賞を受賞したことは知っていますか	選択式回答
愛の競輪を知っていますか	選択式回答
チャリーズを知っていますか	選択式回答
チャリーズを何で知りましたか	選択式回答
選手のボランティア活動や社会貢献活動をどう思いますか	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
よく観戦するスポーツ	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪の違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピック種目のケイリンを見たことがありますか	選択式回答
ケイリンを見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目で見たことがあるもの	選択式回答
競輪場が民間委託されることをどう思いますか	選択式回答
日本写真判定株式会社が富山競輪場の運営をしていることを知っていましたか	選択式回答
今後スタッフ研修を実施することについてどう思いますか	選択式回答
競輪場の業務の合理化、サービス向上、来場促進、その他競輪場の運営に関することについてのご意見	記述式回答
競輪場での勤務年数	記述式回答
現在の持ち場	選択式回答
性別	選択式回答

■ 富山競輪場従事員に対するアンケート 実施日：平成25年4月11日 回答人数：136名

設問	回答形式
車券を買ったことがありますか	選択式回答
車券を購入する目的は何ですか	選択式回答
選択肢のうち、やったことのあるギャンブルを選択してください	選択式回答
本競輪場以外の競輪場に行ったことがありますか	選択式回答
現在の仕事、職場に誇りを持っていますか	選択式回答
以下の各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについて どのような影響を与えていると思いますか（現状は別として）	選択式回答
本競輪場の現状を評価してください	選択式回答
競輪場に知人を誘ったことはありますか	選択式回答
なぜ誘ったことがありませんか	選択式回答
どのようなときに誘いましたか	選択式回答
どのように誘いましたか	記述式回答
競輪場に子供が来ることをどう思いますか	選択式回答
子供が来ることをどう思うかについての回答理由	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
好きな競輪選手の名前	記述式回答
富山所属の選手を何人知っていますか	記述式回答
チャリーズを知っていますか	選択式回答
チャリーズを何で知りましたか	選択式回答
選手のボランティア活動や社会貢献活動をどう思いますか	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
よく観戦するスポーツ	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪の違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピック種目のケイリンを見たことがありますか	選択式回答
ケイリンを見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目で見たことがあるもの	選択式回答
競輪場の業務の合理化、サービス向上、来場促進、 その他競輪場の運営に関することについてのご意見	記述式回答
競輪場での勤務年数	記述式回答
現在の持ち場	選択式回答
性別	選択式回答

■ 松阪競輪場従事員に対するアンケート 実施日：平成25年4月11日 回答人数：107名

設問	回答形式
選択肢のうち、やったことのあるギャンブルを選択してください	選択式回答
本競輪場以外の競輪場に行ったことがありますか	選択式回答
競輪場で働くことに誇りをもっていますか	選択式回答
現在の業務内容に誇りを持っていますか	選択式回答
以下の各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについてどのような影響を与えていると思いますか（現状は別として）	選択式回答
競輪場に知人を誘ったことはありますか	選択式回答
なぜ誘ったことがありますか	選択式回答
どのようなときに誘いましたか	選択式回答
どのように誘いましたか	記述式回答
競輪場に子供が来ることをどう思いますか	選択式回答
子供が来ることをどう思うかについての回答理由	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
好きな競輪選手の名前	記述式回答
三重所属の選手を何人知っていますか	記述式回答
チャリーズを知っていますか	選択式回答
チャリーズを何で知りましたか	選択式回答
選手のボランティア活動や社会貢献活動をどう思いますか	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
よく観戦するスポーツ	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪の違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピック種目のケイリンを見たことがありますか	選択式回答
ケイリンを見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目で見たことがあるもの	選択式回答
競輪場が民間委託されることをどう思いますか	選択式回答
今後スタッフ研修を実施することについてどう思いますか	選択式回答
以下の業務のうち、やっても良いと思う業務を教えてください	選択式回答
複数の業務を覚えることで勤務日数が増えることについてどう思いますか	選択式回答
業務内容やレベルが変わることをどう思いますか	選択式回答
業務の内容と能力によって賃金に差を設けることをどう思いますか	選択式回答
松阪競輪場内あるいは競輪場周辺にあつたら周辺住民の方に喜ばれる施設はありますか	記述式回答
スタッフのみなさんと意見を出し合っ、一緒にイベントや営業活動に行くことをどう思いますか	選択式回答
お客さまのご来場を促進するために良いと思う施策があつたら教えてください	記述式回答
売上向上のために良いと思う施策があつたら教えてください	記述式回答
その他競輪場の運営に関することについてのご意見	記述式回答
競輪場での勤務年数	記述式回答
現在の持ち場	選択式回答
性別	選択式回答

■ 川越場外場従事員に対するアンケート 実施日：平成25年4月11日 回答人数：54名

設問	回答形式
選択肢のうち、やったことのあるギャンブルを選択してください	選択式回答
本競輪場以外の競輪場に行ったことがありますか	選択式回答
競輪場で働くことに誇りをもっていますか	選択式回答
現在の業務内容に誇りを持っていますか	選択式回答
以下の各項目が競輪場の仕事、職場に誇りを持つことについてどのような影響を与えますか（現状は別として）	選択式回答
競輪場に知人を誘ったことはありますか	選択式回答
なぜ誘ったことはありませんか	選択式回答
どのようなときに誘いましたか	選択式回答
どのように誘いましたか	記述式回答
競輪場に子供が来ることをどう思いますか	選択式回答
子供が来ることをどう思うかについての回答理由	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
好きな競輪選手の名前	記述式回答
三重所属の選手を何人知っていますか	記述式回答
チャリズを知っていますか	選択式回答
チャリズを何で知りましたか	選択式回答
選手のボランティア活動や社会貢献活動をどう思いますか	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
よく観戦するスポーツ	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪の違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピック種目のケイリンを見たことがありますか	選択式回答
ケイリンを見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目で見たことがあるもの	選択式回答
競輪場が民間委託されることをどう思いますか	選択式回答
今後スタッフ研修を実施することについてどう思いますか	選択式回答
以下の業務のうち、やっても良いと思う業務を教えてください	選択式回答
複数の業務を覚えることで勤務日数が増えることについてどう思いますか	選択式回答
業務内容やレベルが変わることをどう思いますか	選択式回答
業務の内容と能力によって賃金に差を設けることをどう思いますか	選択式回答
松阪競輪場、川越場外場内あるいは競輪場周辺にあつたら周辺住民の方に喜ばれる施設はありますか	記述式回答
スタッフのみなさんと意見を出し合っ、一緒にイベントや営業活動に行くことをどう思いますか	選択式回答
お客さまのご来場を促進するために良いと思う施策があつたら教えてください	記述式回答
売上向上のために良いと思う施策があつたら教えてください	記述式回答
その他競輪場の運営に関することについてのご意見	記述式回答
競輪場での勤務年数	記述式回答
現在の持ち場	選択式回答
性別	選択式回答

■ 千葉記念来場者に対するアンケート

実施日：平成25年10月17日～20日 回答人数：241名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
性別を教えてください	選択式回答
お住まいの場所を教えてください	選択式回答
千葉競輪場までの交通手段を教えてください	選択式回答
千葉競輪場には今までに何回いらっしゃいましたか	選択式回答
千葉競輪場に限らず、競輪場には今まで何回いらっしゃったことがありますか	選択式回答
(今日の)1レースに賭ける金額(平均の予算)を教えてください	選択式回答
初めて競輪レースを見た印象を教えてください	選択式回答
今日いらしたきっかけを教えてください	選択式回答
今日の開催・イベントを何で知りましたか	選択式回答
本日千葉競輪場にご来場いただいた目的のうち、当てはまるもの	選択式回答
今日は主にどちらで過ごされましたか	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪のルールの違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのケイリンを見たことがありますか	選択式回答
オリンピック種目の競輪を見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目の中で、実際にまたはテレビ等で見たことのある競技	選択式回答
千葉競輪場が写真のようなオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか	選択式回答
以下の各項目それぞれについて、あなた自信の気持ちに一番近いところに○を記入ください (現状がどうであるかは別として)	選択式回答
競輪場の有効活用方法として何かアイディアがあったら、ご記入下さい	記述式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
良く観戦するスポーツを教えてください	選択式回答
千葉競輪場の本日の印象、感想をお書きください	記述式回答
本日の千葉競輪場の状況を評価して下さい	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
葉競輪場に来てほしい選手を挙げて下さい	記述式回答
今後、千葉競輪場でやってほしいイベントがあったら教えてください	記述式回答
千葉競輪場でご自身が主催者としてやってみたいイベントがあったら教えてください	記述式回答
競輪場に関するご意見、ご要望をお願いいたします	記述式回答
千葉競輪場にまたいらっしゃりたいと思いますか	選択式回答
今後、競輪場にいらっしゃる為に必要な条件をお聞かせ下さい	選択式回答

■ 松阪記念来場者に対するアンケート

実施日：平成25年11月15日～18日 回答人数：287名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
性別を教えてください	選択式回答
お住まいの場所を教えてください	選択式回答
松阪競輪場までの交通手段を教えてください	選択式回答
松阪競輪場には今までに何回いらっしゃいましたか	選択式回答
松阪競輪場に限らず、競輪場には今まで何回いらっしゃったことがありますか	選択式回答
(今日の)1レースに賭ける金額(平均の予算)を教えてください	選択式回答
初めて競輪レースを見た印象を教えてください	選択式回答
今日いらしたきっかけを教えてください	選択式回答
今日の開催・イベントを何で知りましたか	選択式回答
本日松阪競輪場にご来場いただいた目的のうち、当てはまるもの	選択式回答
今日は主にどちらで過ごされましたか	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪のルールの違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのケイリンを見たことがありますか	選択式回答
オリンピック種目の競輪を見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目の中で、実際にまたはテレビ等で見たことのある競技	選択式回答
松阪競輪場が写真のようなオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか	選択式回答
以下の各項目それぞれについて、あなた自信の気持ちに一番近いところに○を記入ください (現状がどうであるかは別として)	選択式回答
松阪競輪場で以下のイベントが開催された場合、参加したいと思うもの	選択式回答
今後の競輪場のあり方について、下記の中で一番近い考え	選択式回答
競輪場の有効活用方法として何かアイディアがあつたら、ご記入下さい	記述式回答
競輪場の敷地内にあつたら良いと思う施設	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
良く観戦するスポーツを教えてください	選択式回答
松阪競輪場の本日の印象、感想をお書きください	記述式回答
本日の松阪競輪場の状況を評価して下さい	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
葉競輪場に来てほしい選手を挙げて下さい	記述式回答
今後、松阪競輪場でやってほしいイベントがあつたら教えてください	記述式回答
松阪競輪場でご自身が主催者としてやってみたいイベントがあつたら教えてください	記述式回答
競輪場に関するご意見、ご要望をお願いいたします	記述式回答
松阪競輪場にまたいらっしゃりたいと思いますか	選択式回答
今後、競輪場にいらっしゃる為に必要な条件をお聞かせ下さい	選択式回答

■ 富山競輪場来場者に対するアンケート 実施日：平成25年 回答人数：26名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
性別を教えてください	選択式回答
お住まいの場所を教えてください	選択式回答
富山競輪場までの交通手段を教えてください	選択式回答
富山競輪場には今までに何回いらっしゃいましたか	選択式回答
富山競輪場に限らず、競輪場には今まで何回いらっしゃったことがありますか	選択式回答
(今日の)1レースに賭ける金額(平均の予算)を教えてください	選択式回答
初めて競輪レースを見た印象を教えてください	選択式回答
今日いらしたきっかけを教えてください	選択式回答
今日の開催・イベントを何で知りましたか	選択式回答
本日富山競輪場にご来場いただいた目的のうち、当てはまるもの	選択式回答
今日は主にどちらで過ごされましたか	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪のルールの違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのケイリンを見たことがありますか	選択式回答
オリンピック種目の競輪を見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目の中で、実際にまたはテレビ等で見たことのある競技	選択式回答
富山競輪場が写真のようなオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか	選択式回答
以下の各項目それぞれについて、あなた自信の気持ちに一番近いところに○を記入ください (現状がどうであるかは別として)	選択式回答
富山競輪場で以下のイベントが開催された場合、参加したいと思うもの	選択式回答
今後の競輪場のあり方について、下記の中で一番近い考え	選択式回答
競輪場の有効活用方法として何かアイディアがあったら、ご記入下さい	記述式回答
競輪場の敷地内にあったら良いと思う施設	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
良く観戦するスポーツを教えてください	選択式回答
富山競輪場の本日の印象、感想をお書きください	記述式回答
本日の富山競輪場の状況を評価して下さい	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
葉競輪場に来てほしい選手を挙げて下さい	記述式回答
今後、富山競輪場でやってほしいイベントがあったら教えてください	記述式回答
富山競輪場でご自身が主催者としてやってみたいイベントがあったら教えてください	記述式回答
競輪場に関するご意見、ご要望をお願いいたします	記述式回答
富山競輪場にまたいらっしゃりたいと思いますか	選択式回答
今後、競輪場にいらっしゃる為に必要な条件をお聞かせ下さい	選択式回答

■ 千葉市民レース参加者に対するアンケート 実施日：平成25年12月15日 回答人数：23名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
性別を教えてください	選択式回答
お住まいの場所を教えてください	選択式回答
千葉競輪場までの交通手段を教えてください	選択式回答
千葉競輪場にはバンク走行に限らず今までに何回いらっしゃいましたか	選択式回答
千葉競輪場に限らず、競輪場のバンクを走行したことは今まで何回ありますか	選択式回答
競輪の車券を購入したことがありますか	選択式回答
今日いらした理由を教えてください	選択式回答
今日のレースを何で知りましたか	選択式回答
ケイリンがオリンピック種目であることを知っていますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと車券を販売している競輪のルールの違いを知っていますか	選択式回答
車券を販売している競輪を見たことがありますか	選択式回答
車券を販売している競輪を見てどう思いましたか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのケイリンを見たことがありますか	選択式回答
オリンピック種目の競輪を見てどう思いましたか	選択式回答
競輪選手の中にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
次に挙げる自転車競技種目の中で、実際にまたはテレビ等で見たことのある競技	選択式回答
自転車ロードレースに対する興味について、一番近いもの	選択式回答
自転車ロードレースに参加についてお聞きます。あてはまるもの1つに○を付けて下さい	選択式回答
自転車トラックレースに対する興味について、あてはまるもの1つに○を付けて下さい	選択式回答
自転車トラックレースの参加について、あてはまるもの1つに○を付けて下さい	選択式回答
競輪場でトラック競技の練習をしたり、競輪選手による指導を受けることができると思えば参加したいと思いますか	選択式回答
競輪場でロードバイクの練習をしたり、セッティングやフォームなどの指導を受けることができると思えば参加したいと思いますか	選択式回答
自宅から車でどのくらいの時間で行ける競輪場だったら参加したいですか	選択式回答
競輪とKEIRIN、どちらに興味がありますか	選択式回答
千葉競輪場が写真のようなオリンピック競技のKEIRIN規格の競輪場になることをどう思いますか	選択式回答
本日のレースイベントの感想をお書きください	記述式回答
今後、千葉競輪場でやってほしいイベントがあったら教えてください	記述式回答
千葉競輪場でご自身が主催者としてやってみたいイベントがあったら教えてください	記述式回答
競輪場に関するご意見、ご要望をお願いいたします	記述式回答

■ ジャパントラックカップ観戦者に対するアンケート 実施日：平成25年1月24日～26日 回答人数：105名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
性別を教えてください	選択式回答
お住まいの場所を教えてください	選択式回答
ご来場の理由をお聞かせ下さい	選択式回答
お持ちのスポーツ自転車をお教え下さい	選択式回答
競輪場にはどのくらい行ったことがありますか	選択式回答
競輪の車券を購入したことがありますか	選択式回答
競輪の車券を購入してみたいですか	選択式回答
競輪輪場やベロドロームなどトラックを走行してみたいですか	選択式回答
今日のレースで車券が購入できたらしてみたいですか	選択式回答
競輪場で行われている競輪と今回のレースではユニフォーム・自転車はどちらが格好良いと思いますか	選択式回答
競輪場で行われている競輪と今回行われているKEIRINでは競技としてどちらが面白いですか	選択式回答
今回のレース出場者に競輪選手がいることは知っていますか	選択式回答
競輪選手にオリンピックメダリストがいることを知っていますか	選択式回答
好きな種目を教えてください	選択式回答
自転車トラック競技に対する興味について、あてはまるもの	選択式回答
競輪場におけるトラック走行イベント・レースに参加したいと思いますか	選択式回答
自宅から車でどのくらいの時間で行ける競輪場だったら参加したいですか	選択式回答

■ 競輪選手に対するアンケート 実施日：平成25年12月13日～27日 回答人数：124名

設問	回答形式
年齢を教えてください	選択式回答
所属支部を教えてください	選択式回答
2013年12月2日時点の班級を教えてください	選択式回答
現在の競輪場の問題点は何だと思いますか	選択式回答
全国的に競輪の売上や来場者が年々減少している理由をどのようにお考えですか	記述式回答
東京五輪開催決定をどう思いますか	選択式回答
東京五輪に向けて選手、選手会、競輪業界は何をすべきだとお考えですか	記述式回答
東京五輪で競輪選手がメダルを取ることにに関して以下の中で一番近い考え	選択式回答
東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり、競技者を増やすために多くの方に競輪場で自転車で走行して貰うことについて、どのように思いますか	選択式回答
東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについて、どのように思いますか	選択式回答
競輪とKEIRINを比較して、レースのルールについてどう思いますか	選択式回答
競輪とKEIRINを比較して、レースの内容についてどう思いますか	選択式回答
競輪とKEIRINを比較して、自転車のスタイリングについてどう思いますか	選択式回答
競輪とKEIRINを比較して、ユニフォームのデザインについてどう思いますか	選択式回答
競輪とKEIRINを比較して、ヘルメットのスタイリング・デザインについてどう思いますか	選択式回答
日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするため、男子についてKEIRINルールで車券を発売することについてどう思いますか	選択式回答
日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするために競輪場が250mの競輪場になることをどう思いますか	選択式回答

■ 競輪施行者に対するアンケート

実施日：平成25年12月4日～26日 回答人数：37名

設問	回答形式
競輪業務を担当して何年目になられますか	選択式回答
現在の競輪場の問題点は何だと思えますか	選択式回答
全国的に競輪の売上や来場者が年々減少している理由をどのようにお考えですか	記述式回答
好きな競輪選手はいますか	選択式回答
スポーツをすることは好きですか	選択式回答
普段自転車に乗りますか	選択式回答
どういった種類の自転車に乗っていますか	選択式回答
競輪場を自転車で走ってみたいと思えますか	選択式回答
競輪場で自転車レースに参加してみたいと思えますか	選択式回答
スポーツ観戦は好きですか	選択式回答
よく観戦するスポーツを教えてください	選択式回答
東京五輪開催決定をどう思いますか	選択式回答
東京五輪に向けて自治体は何をすべきだとお考えですか	記述式回答
東京五輪で競輪選手がメダルを取ることにに関して以下の中で一番近い考え	選択式回答
東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり、競技者を増やすために多くの方に競輪場で自転車で走行して貰うことについて、どのように思いますか	選択式回答
東京オリンピックに向けて競輪や自転車競技の認知度を上げたり競技者を増やすために多くの方に競輪場でアマチュアが参加できるトラックレースを行うことについて、どのように思いますか	選択式回答
オリンピック種目のケイリンと競輪のルールの違いを知っていますか	選択式回答
オリンピックやワールドカップなどオリンピックルールのケイリンを見たことがありますか	選択式回答
レースを見て競輪と比較してどのように思いましたか	選択式回答
実際にまたはテレビ等で見たことのある自転車トラック競技はありますか	選択式回答
日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするため、男子についてKEIRINルールで車券を発売することについてどう思いますか	選択式回答
日本人がオリンピックでメダルを取れるようにするために競輪場が写真のような250mの競輪場になることをどう思いますか	選択式回答
今後の競輪事業をどのようにお考えですか	選択式回答